

相模原市図書館事業評価書

(評価期間：平成26年度～平成28年度)

平成30年6月
相模原市立図書館

【目次】

I	図書館事業評価の目的及び概要等	
1	図書館事業評価の目的	1
2	図書館事業評価の概要及び評価手法	3
II	相模原市図書館事業評価の総括 (評価期間：平成26年度～平成28年度)	
1	平成26年度～平成28年度における図書館事業評価総括	5
2	全体評価の総括	5
3	各館評価の総括	7
III	相模原市図書館事業評価の詳細結果	
1	全体評価(定量評価)	8
	(1)蔵書に関する指標	
	(2)利用に関する指標	
	(3)来館に関する指標	
2	各館評価(定性評価)	24
	(1)市立図書館	
	(2)相模大野図書館	
	(3)橋本図書館	
	(4)アンケート実施結果	

I 図書館事業評価の目的及び概要等

1 図書館事業評価の目的

図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）では、運営の状況に関する評価を行い運営の改善を図るための措置を講ずることと、運営の状況に関する情報を積極的に提供することが、努力義務規定として設けられている。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）では、図書館の基本的な運営方針に基づいた運営の確保と、その事業水準の向上を図るため、運営状況の点検及び評価を行うよう努めることとされている。

このことから、相模原市の図書館においても図書館事業評価を行い運営改善に生かすため、他市図書館の評価実施状況について調査研究を行い、担当者会議において評価内容及び実施方法等の評価案を作成するとともに、相模原市立図書館協議会（以下「図書館協議会」という。）に意見をいただきながら検討を進め、評価を実施したものである。

【参考：図書館事業評価実施の根拠】

● 図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）

（運営の状況に関する評価等）

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

● 「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

（平成24年12月19日文科科学省告示第172号）

第2の1の（二）

1 管理運営

（二）運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、（一）の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

2 図書館事業評価の概要及び評価手法

(1) 事業評価の概要

図書館協議会による検討等を重ねてきた中で、事業評価については、図書館サービスの向上に資するため、各年度に掲げた目標及び事業について検証及び評価を行うこととし、新・相模原市総合計画の実施計画期間（中期実施計画：平成26年度から平成28年度まで、後期実施計画：平成29年度から平成31年度まで）に合わせて、3か年分をまとめた評価書を3年に1度公表することとした。

評価書については、本市図書館全体の利用者へのサービスに係る全体評価と、市立図書館及び相武台分館、相模大野図書館、橋本図書館の各事業に係る各館評価に分けた構成内容とすることとした。

(2) 事業評価の手法

評価手法については、第三者の立場から客観的視点で行われる外部評価と図書館職員の自己評価による内部評価、図書館利用者の満足度やニーズの把握等を目的に行うアンケート調査を採用した。外部評価については、様々な専門性と知見を有する図書館協議会委員に、運営に関わる事項として外部評価を依頼することとした。

(3) 全体評価

全体評価は、図書館サービスに係る評価指標と目標値を設定し、目標値に対する達成状況を定量的に検証することとし、図書館協議会委員による外部評価（平成27年度分から実施）と図書館職員による内部評価を行った。

ア 評価指標

評価指標は平成22年に策定された「相模原市図書館基本計画」（以下「基本計画」）の成果指標をベースに検討し、図書館サービスの基本となる「蔵書に関する指標」・「利用に関する指標」・「来館に関する指標」の3つの指標に分けて評価を行った。

- ・ 蔵書に関する指標
⇒市民1人当たりの蔵書数、参考図書⁽¹⁾の蔵書数、郷土資料⁽²⁾の蔵書数
- ・ 利用に関する指標
⇒市民1人当たりの貸出冊数、子どもの貸出冊数
- ・ 来館に関する指標
⇒入館者数、おはなし会参加者数、レファレンス⁽³⁾の受付件数
※入館者数は、「図書館基本計画」では成果指標の項目としていないが、場としての図書館機能を計るため項目に加えることとした。

イ 目標値

各指標の項目に係る目標値は、過去の実績を踏まえ「増加を目指す」及び「減少を抑える」の2つの視点から以下の表のとおり設定する。

「増加を目指す」とは、事業実施等により更に増加を目指すことを目

⁽¹⁾ 参考図書：辞（事）典や年鑑など、主に調査研究の用途で必要箇所を参照する資料。

⁽²⁾ 郷土資料：地方行政資料や郷土に関する歴史的資料、地域内で刊行された資料など、その図書館が設置された地域や関係する地域に関連する資料。

⁽³⁾ レファレンス：図書館が実施する情報サービスの一つで、資料や情報を求めている利用者に対して調査支援や直接回答を行う。

的とし、「減少を抑える」とは、人口動向及び社会的要因等により、減少はやむを得ない状況にありつつも、事業実施等によりその減少率を抑制することを目的とする。

指 標	項 目	目 標 値 (対前年比)
蔵書に関する指標	① 市民 1 人当たりの蔵書数	0.2% 増加
	② 参考図書の蔵書数	1.5% 増加
	③ 郷土資料の蔵書数	3.0% 増加
利用に関する指標	① 市民 1 人当たりの貸出冊数	2.0% 以内の減少
	② 子どもの貸出冊数	5.0% 以内の減少
来館に関する指標	① 入館者数	1.0% 増加
	② おはなし会参加者数	1.0% 増加
	③ レファレンスの受付件数	1.5% 以内の減少

(4) 各館評価

各館評価は、各図書館で実施した事業を定性的に検証することとし、図書館職員による内部評価と図書館利用者へのアンケート（平成28年度分から実施）を行った。

ア 評価対象

各図書館で実施した年度ごとの主な事業を評価対象とし、事業への取組や成果等について検証するとともに、課題点等の抽出を行った。

イ 図書館利用者アンケート

来館者へのアンケート及び各事業実施時のアンケートによる利用者意見から評価や課題点を抽出した。

II 相模原市図書館事業評価の総括

(評価期間:平成26年度～平成28年度)

1 平成26年度～平成28年度における図書館事業評価総括

蔵書数が充実し市民1人当たりの蔵書冊数が増加した点や、効果的な蔵書活用を図っている点、子ども読書活動推進計画に基づき、関係機関とも連携しながら、図書館利用を促進する取組を各館で積極的に実施した点などが、図書館協議会による外部評価において評価された。

一方で、来館者数や貸出冊数は目標値よりも減少傾向にあることから、各館において利用促進の取組を継続して行うとともに、社会状況の変化に応じたサービスの研究を行い更なる利用促進につなげることや、図書館利用者の拡大に向けた広報活動の強化等の課題が挙げられた。

また、蔵書の質的評価など、評価方法に関する今後の研究課題も挙げられた。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、市民の知の拠点として、市民や地域に役立つ図書館を目指して活動していく。

2 全体評価の総括

全体評価(p8～)は、蔵書・利用・来館に係る各指標について定量的に検証し評価を行った。

(1) 蔵書に関する指標(3項目)

※網掛けは目標を達成した項目

評価項目	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年比 目標値
市民1人当たりの蔵書数(冊)	1.98	1.99	2.01	+0.2%
	+0.5%	+0.5%	+1.0%	
参考図書の蔵書数(冊)	60,514	60,348	60,779	+1.5%
	+2.0%	-0.3%	+0.7%	
郷土資料の蔵書数(冊)	78,422	80,513	81,458	+3.0%
	+3.6%	+2.6%	+1.1%	

「市民1人当たりの蔵書数」「参考図書の蔵書数」「郷土資料の蔵書数」について評価を行った。

市民1人当たりの蔵書数は、いずれの年度も目標を達成した。参考図書の蔵書数及び郷土資料の蔵書数は、平成26年度はいずれも目標を達成したが、平成27・28年度は達成できなかった。

蔵書数は増加傾向にあり、量的な充実を図ることができている一方で、蔵書の質的な評価も併せて行い、蔵書構築に生かすことが今後の課題である。

(2) 利用に関する指標 (2項目)

※網掛けは目標を達成した項目

評価項目	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年比 目標値
市民1人当 たりの貸出冊 数(冊)	4.03	4.03	3.85	-2.0%
	-1.8%	±0%	-4.5%	
子どもの 貸出冊数(冊)	551,586	539,603	501,580	-5.0%
	-7.3%	-2.2%	-7.1%	

「市民1人当たりの貸出冊数」「子どもの貸出冊数」について評価を行った。

市民1人当たりの貸出冊数は、平成26・27年度は目標以内の減少に抑えることができたが、平成28年度は目標以上の減少となった。子どもの貸出冊数は、平成27年度は目標以内の減少に抑えることができたが、平成26・28年度は目標以上の減少となった。

各館において、社会状況の変化に応じた新たな視点も加えながら継続的に図書館利用促進の取組を実施するとともに、子どもの貸出については、関係機関との連携を図りながら「相模原市子ども読書活動推進計画」を推進し、子どもの読書環境の充実を図ることが課題である。

(3) 来館に関する指標 (3項目)

※網掛けは目標を達成した項目

評価項目	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年比 目標値
入館者数(人)	2,091,058	2,111,074	2,027,045	+1.0%
	-1.0%	+0.9%	-4.0%	
おはなし会 参加者数(人)	7,538	7,241	7,347	+1.0%
	+1.0%	-4.0%	+1.4%	
レファレンスの 受付件数(件)	34,897	33,623	36,850	-1.5%
	-2.3%	-3.7%	+9.5%	

「入館者数」「おはなし会参加者数」「レファレンスの受付件数」について評価を行った。

入館者数は、いずれの年度も目標を達成することができなかった。おはなし会への参加者数は、平成26・28年度は目標を達成し、平成27年度は達成できなかった。レファレンスの受付件数は、平成26・27年度は目標を達成できなかったものの、平成28年度に大きく増加し、目標を達成できた。

おはなし会やレファレンスサービスの更なる周知や工夫を図るとともに、来館者に対するサービスの分析及び検討や、館内の利用環境の整備等を行い、来館者の増加につなげることが課題である。

3 各館評価の総括

各館評価（p24～）は、各図書館で実施した年度ごとの主な事業を評価対象とし、事業への取組や成果等について検証し内部評価を行った。

平成28年度分からは、来館者に対して実施した「事業に関するアンケート」及び各事業実施時の参加者によるアンケートの結果から評価点や課題点を抽出し、外部評価として加えた。

各館における課題や利用者ニーズに即した蔵書構築を行うとともに、関係機関とも積極的に連携を図り、資料の利用につながるような読書普及事業を様々な年代に向けて実施した。

また、事業の実施だけではなく、図書館の事業を周知する取組や、図書館内の施設面の整備など、利用環境の充実という側面からも、図書館利用促進を図った。

全体評価と同様に、来館者数や貸出冊数は各館別に見ても長期的には減少傾向にあることから、事業を計画的に推進して図書館利用促進につなげることが課題である。

アンケート結果の分析等から利用者ニーズの把握に努め、各館でのサービスや蔵書構築等に生かして更なる事業の充実を図りたい。

Ⅲ 相模原市図書館事業評価の詳細結果

1 全体評価（定量評価）

(1) 蔵書に関する指標

蔵書に関する指標（平成26年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値（対前年比）	実績値	
		平成25年度	平成26年度
① 市民1人当たりの蔵書数（冊）	1.97 (+0.2%)	1.97	1.98
蔵書総数 相模原市人口（人）	1,425,248	1,422,404 721,178	1,430,685 722,534
② 参考図書の蔵書数（冊）	60,190 (+1.5%)	59,301	60,514
③ 郷土資料の蔵書数（冊）	77,918 (+3.0%)	75,649	78,422
【内部評価】			
<p>平成26年度末の図書資料の蔵書総数は1,430,685冊で、平成25年度末に比べ、8,281冊の増となった。</p> <p>①市民1人当たりの蔵書数については、目標値1.97冊に対し、前年比0.5%増の1.98冊となり、目標値を上回った。同じく、②参考図書の蔵書数は1,213冊(2.0%)、③郷土資料の蔵書数は2,773冊(3.6%)の増となり、蔵書に関する指標はいずれも目標値を上回った。図書購入費予算が前年度より増加したことに伴う購入図書の増加と、寄贈図書の積極的な活用により、蔵書の充実を図ることができた。</p> <p>また、郷土資料については、平成25年度の2,465冊の寄贈に対し、平成26年度は2,703冊の寄贈があった。郷土資料は通常の出版流通ルートでは購入が難しいものが多く、入手には図書館からの呼びかけなど継続的な取組が必要となる。地域の図書館の果たす重要な役割のひとつとして、今後も積極的な収集を図る必要がある。</p>			

蔵書に関する指標 (平成27年度)			
【実績値】			
評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成26年度	平成27年度
① 市民1人当たりの蔵書数(冊)	1.98 (+0.2%)	1.98	1.99
蔵書総数	1,433,546	1,430,685	1,440,117
相模原市人口(人)		722,534	721,212
② 参考図書の蔵書数(冊)	61,421 (+1.5%)	60,514	60,348
③ 郷土資料の蔵書数(冊)	80,774 (+3.0%)	78,422	80,513
<p>【内部評価】</p> <p>蔵書に関する指標のうち、①市民1人当たりの蔵書数については、目標値1.98冊に対し、実績はそれを上回る前年比0.5%増の1.99冊となった。これは、昨年度に引き続き、図書購入費が増額となり、蔵書の充実を図ることができた結果、前年度から9,432冊増の1,440,117冊になったためである。</p> <p>一方で、②参考図書の蔵書数は、前年度実績を下回り、③郷土資料の蔵書数も、前年度実績は上回ったが、いずれも目標を達成することができなかった。これは、新しく刊行された本を受け入れながら限りある保管スペースを有効に活用するため、保存年限や保存冊数の見直しを行い、複本⁽⁴⁾等を除籍⁽⁵⁾したためである。</p> <p>今後は、本市図書館の貸出状況や予約状況から利用者ニーズを把握すると共に、文部科学省及び文化庁の読書・図書館に関する報告書、並びに民間機関が毎年実施する読書調査等から全国的な動向を見守りながら、図書館の本旨にかなった資料収集を推進する。</p>			
<p>【外部評価】</p> <p>○評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書購入費の増額など様々な事情を勘案しながら市民を利用対象者とした蔵書の充実を図っている。 ・ 利用者ニーズの把握や読書調査等の動向の確認に努めている。 ・ 複本等の除籍などにより、保管スペースの有効活用を行いつつ、各図書館の特色を出しながら充実を図っている。 			

⁽⁴⁾ 複本：内容がまったく同一の本。

⁽⁵⁾ 除籍：図書館資料のうち何らかの理由で不用とされたものを除去し、目録や登録原簿等の当該資料の記録を抹消すること。

○課題

- ・ 読書を始める機会に繋げるための蔵書構築。
- ・ 図書と雑誌の比率を考慮した蔵書構築。
- ・ 電子書籍も含めた蔵書構築の検討。
- ・ 将来を見越した明確な収集方針及び3館の具体的な特色が現れるような蔵書構築の検討。
- ・ 顕在化していないニーズも含めた利用者ニーズの把握。
- ・ 小中学生の国語の単元教材に係る図書の充実。

蔵書に関する指標 (平成28年度)

【実績値】

評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成27年度	平成28年度
① 市民1人当たりの蔵書数(冊)	2.00 (+0.2%)	1.99	2.01
蔵書総数	1,442,997	1,440,117	1,449,482
相模原市人口(人)		721,212	720,986
② 参考図書の蔵書数(冊)	61,253 (+1.5%)	60,348	60,779
③ 郷土資料の蔵書数(冊)	82,928 (+3.0%)	80,513	81,458

【内部評価】

平成28年度の蔵書総数は、前年度と比べ9,365冊(0.6%)の増となった。図書資料購入予算の増に伴い購入資料が増加したこと、引き続き寄贈図書を活用したこと、保健と福祉のライブラリー移転の際に図書館で必要な資料を移管したことなどが蔵書の充実につながり、①市民1人当たりの蔵書数は2.01冊に増え目標値を達成することができた。

蔵書については、引き続き量的充実を図るとともに、利用者ニーズの把握や蔵書構成の見直しなどを随時行い、質的側面を更に充実させることが課題である。課題に対する全館での取組として、複本購入⁽⁶⁾の考え方の整理及び分担購入資料⁽⁷⁾の見直しを実施し、全館での効果的な資料収集を図った。各館の取組として、市立図書館では高齢者世代や中高生世代向けの資料の書架を新設し、利用対象に沿った蔵書活用の試みを行った。また、相模大野図書館では、世代や特性に配慮した資料収集として、大活字本等の積極的収集を行った。橋本図書館ではテーマ別資料コーナーを設置し、ビジネスや健康などのより具体的な主題に対応した蔵書構築を行った。

今後も資料の利用状況などから利用者のニーズを把握し、蔵書の増加を図書館利用に効果的に結び付けられるような取組を行う必要がある。

②参考図書の蔵書数及び③郷土資料の蔵書数はいずれも前年度比で増加したものの、参考図書431冊(0.7%)、郷土資料945冊(1.1%)の増に留まり、目標値を達成することができなかった。昨年度に郷土資料のうち行政資料の保存年限や保存冊数の見直しを行い、各館で継続的に適正数の除籍を実施したため、増加の伸びが抑制された。

⁽⁶⁾ 複本購入：同一のタイトルの資料を複数購入し所蔵すること。一般書については、予約多数などの一定の理由があるものを除き、図書館での購入を原則1タイトル1冊としている。

⁽⁷⁾ 分担購入資料：新書や文庫、外国語資料を各館で分担し、継続的に購入している。

参考図書・郷土資料は館内閲覧による利用が基本となるため、3館相互のレファレンスサービスや館間貸出⁽⁸⁾など、運用面の工夫により効率的な蔵書活用を図っている。また、市立図書館での公文書館連携展示や、各館での庁内情報発信の取組により、各機関の専門性を活用しながら郷土資料の周知と活用を図っている。今後も各館で必要な資料の収集と保存及び活用の取組を実施し、効果的な蔵書構築に努めたい。

【外部評価】

○評価

- ・ 定量評価として、蔵書総数が目標値を上回っている。
- ・ 市民1人当たりの蔵書冊数が増加している。
- ・ 予算増だけに頼ることなく、寄贈図書の活用や資料移管などにより蔵書の充実に努めている。
- ・ 各館とも資料の利用状況などを分析しながら利用者ニーズを的確に把握し、独自の特色ある取組を進めている。
- ・ 内部評価において、蔵書の質的側面を充実させることを課題と捉えている。
- ・ 具体的に複本購入を見直すなど、効果的な資料収集を行っている。
- ・ 郷土資料に関する増加の伸びの抑制は、各館における継続的な適正数の除籍の実施によるものと理解する。
- ・ 参考図書、郷土資料の蔵書数は目標値を達成できていないものの、運用面で工夫することにより効率的、効果的な蔵書活用を図っている。

○課題

- ・ 蔵書の量的充実とともに、質的充実の継続的な取組。
- ・ 利用状況の把握と、利用者ニーズに対応できる資料の充実及び蔵書の効果的な活用。
- ・ 利用者の情報収集環境の多様化を踏まえた、蔵書の種類についての継続的な検討。
- ・ 利用が見込まれる資料の収集と、資料を実際に利用者の目に触れさせ届ける工夫。
- ・ 3館の資料収集方針におけるより明確な役割分担の検討。
- ・ 子ども（特に幼児）向け資料の特性を考慮した蔵書構築。
- ・ 参考図書と郷土資料について、除籍数を考慮し目的を明確化した指標の設定。
- ・ 特定の世代や利用者を対象とした資料について、対象者に制限された読書環境にならないように配慮した設置上の工夫。

⁽⁸⁾ 館間貸出：館内閲覧用の資料に閲覧希望があった場合、希望があった館に送付し館内閲覧資料として短期間提供すること。

(2) 利用に関する指標

利用に関する指標 (平成26年度)			
【実績値】			
評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成25年度	平成26年度
① 市民1人当たりの貸出冊数(冊)	4.01 (-2.0%以内)	4.10	4.03
貸出総数	2,901,083	2,960,289	2,914,666
相模原市人口(人)		721,178	722,534
② 子どもの貸出冊数(冊)	564,673 (-5.0%以内)	594,393	551,586
		市立 143,764 大野 103,517 橋本 137,979	市立 132,445 大野 97,418 橋本 130,960

※「子どもの貸出冊数」の「子ども」とは、0～18才を指す。
 ※「子どもの貸出冊数」の館別内訳は、分館分を市立に含む。また、公民館図書室分は含まれていない。

【内部評価】

貸出総数は2,914,666点で、平成25年度に比べ45,623点(1.5%)の減となった。その結果、①市民1人当たりの貸出冊数は4.03冊(1.8%の減)となり、目標値以下の減少に抑えることができた。内訳は、一般図書17,860冊、児童書17,934冊、AV資料11,392点の減で、雑誌のみ1,563冊の増となっている。

減少は抑えられたものの、蔵書総数の増加が貸出冊数の増加には必ずしも結びついていないことから、展示の実施やブックリストの作成及び配布、事業と資料を結びつける工夫など、蔵書の効果的な活用を図る取組を検討し継続的に実施する必要がある。

子どもの貸出冊数については、42,807点(7.3%)の減となり、目標値を達成することができなかった。「第二次相模原市子ども読書活動推進計画」で策定した取組をはじめ、各館で子ども向けの読書案内作成及びおはなし会等の事業を実施しているが、更なる子どもたちの読書のきっかけづくりとなるような機会の提供や、読書環境の整備が必要である。

利用に関する指標 (平成27年度)

【実績値】

評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成26年度	平成27年度
① 市民1人当たりの貸出冊数(冊)	3.94 (-2.0%以内)	4.03	4.03
貸出総数	2,856,373	2,914,666	2,910,963
相模原市人口(人)		722,534	721,212
② 子どもの貸出冊数(冊)	524,006 (-5.0%以内)	551,586	539,603
		市立 132,445 大野 97,418 橋本 130,960	市立 128,625 大野 95,127 橋本 118,306

※「子どもの貸出冊数」の「子ども」とは、0～18才を指す。

※「子どもの貸出冊数」の館別内訳は、分館分を市立に含む。また、公民館図書室分は含まれていない。

【内部評価】

利用に関する指標は、ここ数年間の貸出冊数の減少傾向が続くという状況下において、その減少を最小限に抑えた目標値ではあったが、①市民1人当たりの貸出冊数は、対前年比マイナス2%以内の目標に対して、実績ではほぼ横ばいであった。②子どもの貸出冊数についても、対前年比マイナス5%以内の目標に対して、2.2%の減少に抑えることができた。ただし、子どもの貸出冊数を館別で見ると、市立図書館は2.9%、相模大野図書館は2.4%、橋本図書館は9.7%の減少となっている。

各館では、それぞれ趣向を凝らした蔵書の特集展示や、イベントに合わせた資料の紹介をすることで貸出冊数を増やす工夫を引き続き行い、今後も市民の貴重な財産である蔵書をより一層ご利用いただくための努力を重ねていきたい。

【外部評価】

○評価

- ・ 趣向を凝らした蔵書の特集展示やイベントに合わせた資料の紹介を各図書館が実施し、一定の効果を上げている。
- ・ 青少年(中学生・高校生等)を対象とした取組や、乳幼児を対象とした事業を実施し、貸出冊数の増加を図っている。
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの運用を開始した。
- ・ 新規の利用者を増やすための努力をしている。
- ・ 書物に頼らなくても簡単に情報が入手できる昨今の社会情勢から、貸出冊数の減少はある程度やむを得ない。

○課題

- ・ 各年代における貸出冊数の定期的な把握。
- ・ 子どもを取り巻く社会的な背景及び図書館をめぐる環境要因の分析。
- ・ 子ども時代の読書習慣を育成するための施策の実践。
- ・ 図書館を利用しない市民に対する働きかけ。
- ・ 市立図書館における読み聞かせボランティアの情報交換会の実施。
- ・ 幼い子を持つ親が、図書館を利用しやすい場所と感じる設備の確保。

利用に関する指標 (平成28年度)

【実績値】

評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成27年度	平成28年度
① 市民1人当たりの貸出冊数	3.95 (-2.0%以内)	4.03	3.85
貸出総数	2,852,743	2,910,963	2,778,527
相模原市人口(人)		721,212	720,986
② 子どもの貸出冊数	512,622 (-5.0%以内)	539,603	501,580
		市立 128,625 大野 95,127 橋本 118,306	市立 123,509 大野 90,664 橋本 108,919

※「子どもの貸出冊数」の「子ども」とは、0～18才を指す。

※「子どもの貸出冊数」の館別内訳は、分館分を市立に含む。また、公民館図書室分は含まれていない。

【内部評価】

平成28年度の貸出総数は、前年度と比べ132,436冊(4.5%)の減となった。その結果、①市民1人当たりの貸出冊数は3.85冊(4.5%)の減となり、目標値を達成することができなかった。貸出総数は減少傾向で、平成24年度から290万冊台の数値で推移していたが、今年度は目標値よりも減少の幅が大きかった。②子どもの貸出冊数についても、前年度と比べ38,023冊(7.1%)の減となり、目標値を達成することができなかった。

年齢別に見ると、50歳代及び70歳以上の貸出総数は増加したが、それ以外の年齢層は減少した。子どもの年齢別では、7歳～12歳の貸出総数が最も多く、子どもの貸出冊数の約58%を占めている。また、貸出総数に占める子どもの貸出冊数の割合は、前年度比で0.5%減少している。

貸出は個々の利用者の資料要求のほか、図書館によるレファレンスサービスやフロアワーク⁽⁹⁾などの人的支援、予約・リクエストサービス、読書普及の事業等、総合的な取組が影響している。入館者数の減少傾向や、少子高齢化による利用者層の変化といった状況を考慮しながら利用を促進するために、資料と利用者をつなぐ取組の一層の充実を図りたい。

蔵書については、先に触れたように複本購入の考え方を整理し、可能な限り多彩な資料の確保に努めている。利用状況の詳細な分析を行い選書に反映させるなど、各館の状況に応じた蔵書構築を行うことが肝要であり、書架の整理や展示等による資料の積極的な活用により、利用者が日頃目にする書架に新鮮度を感じさせる工夫を実践したい。

資料と人とをつなぐきっかけづくりとして、各館での直接的なサービスのほか、様々な資料利用促進の取組を実施している。子どもを対象とした取組とし

⁽⁹⁾ フロアワーク：貸出や予約受付などカウンターで行うサービスに対し、カウンター以外の場所に出て行う利用者サービス。

では、「第二次相模原市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書環境づくりを計画的に進めている。図書館だけでなく、市内の関係機関と連携を取りながら、読書のすそ野が広がるよう取り組んでいる。また、図書館における事業の広報活動として、広報紙やホームページに加え、報道機関への情報提供やソーシャルメディア⁽¹⁰⁾を活用した積極的な情報発信を行っている。

引き続き様々な方向から図書館資料の利用促進を図るとともに、相模大野図書館で実施している、図書館以外の施設が設置している電子掲示板などへの広報など、図書館未利用者へのサービス等の周知につながる試みにより、新たな利用者を増やす取組も必要である。

【外部評価】

○評価

- ・ 子どもの読書離れに対して、さまざまな努力をしている。
- ・ 関係機関と連携を取りながら、子どもの読書活動推進計画を進めている。
- ・ 子どもを対象とした取組での市内の関係機関との連携やソーシャルメディアの活用は評価できるので、今後もより一層進めて欲しい。
- ・ 書架に対して利用者が新鮮さを感じられるように、展示等で工夫している。また、情報紙の発行等で図書館側から利用者に向けて寄り添う気持ちを発信している。
- ・ 幅広い世代を考慮して、おはなし会、各種講座、各種事業イベントが積極的に工夫をこらして実施され、多くの参加者を集めている。
- ・ 様々な角度から広報活動や情報発信に取り組んでいる。

○課題

- ・ 少子高齢化による利用者層の変化に対応した貸出等サービスの構築。
- ・ 子どもの貸出冊数減少の要因分析と、読書意欲を喚起するような工夫及び改善の検討。
- ・ 入館者数の減少、利用者層の変化に対応するための中長期的な計画の策定
- ・ 貸出冊数増加（蔵書の利用促進）につなげられるような事業の検討。
- ・ 書物ならではの良さを備えた蔵書の充実と積極的な周知。
- ・ 学校支援図書セットや団体貸出の利用促進に向けた、継続的な情報発信。
- ・ 図書館未利用者への情報発信の更なる充実。
- ・ 広報活動や情報発信の効果検証。
- ・ 図書館に対する理解拡大に向けた、地域ボランティアとの積極的な協働。
- ・ 事業を支えるボランティア同士の交流やスキルアップの機会の拡充。
- ・ 多様な世代が本とともに快適な時間を過ごせる環境の整備。

⁽¹⁰⁾ ソーシャルメディア：インターネット上で利用者同士が情報発信し、相互にコミュニケーションを取れるような仕組みのサービス。相模原市の図書館では、TwitterとFacebookで公式アカウントを取得し、情報発信をしている。

(3) 来館に関する指標

来館に関する指標 (平成26年度)			
【実績値】			
評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成25年度	平成26年度
①入館者数(人)	2,132,148 (+1.0%)	2,111,038 市立 533,449 大野 666,253 橋本 911,336	2,091,058 市立 537,016 大野 654,277 橋本 899,765
②おはなし会 参加者数(人) ※[]は開催回数	7,531 (+1.0%)	7,457 [385] 市立 2,075 [144] 大野 1,799 [104] 橋本 3,583 [137]	7,538 [379] 市立 2,324 [142] 大野 1,916 [103] 橋本 3,298 [134]
③レファレンスの 受付件数(件)	35,168 (-1.5%以内)	35,704 市立 14,972 大野 8,711 橋本 12,021	34,897 市立 14,333 大野 8,922 橋本 11,642

※②及び③の実績値の館別内訳は、分館分を市立に含む。

【内部評価】

来館に関する指標は、②おはなし会参加者数のみ目標値を達成することができた。

①入館者数については、平成25年度と比べ19,980人(1.0%)の減となった。内訳では、市立図書館のみ3,567人増加しているが、相模大野・橋本はいずれも1万人以上減少している。日頃からの窓口対応やアンケート等の機会を活用して利用者ニーズを的確に把握し、各種サービスに反映させるなどの総合的な取組により、図書館利用の増加を図りたい。

②おはなし会参加者数は、開催数は全体で6件減少したものの、参加者数は7,538人と、平成25年度と比べ81人(1.0%)の増となった。おはなし会は曜日や季節を決めて定期的を開催しており、利用者に定着してきていると思われる。一方で子どもの年齢が上がるにつれて参加者数が伸び悩んでおり、各館での課題となっている。

③レファレンス受付件数の総数は、平成25年度と比べ807件(2.3%)の減となった。パスファインダー⁽¹¹⁾の作成及び提供、レファレンス協同データベース⁽¹²⁾への事例登録など、引き続き利用者が自ら調べる環境を充実させるとともに、サービスそのものの認知度向上の取組が必要である。

⁽¹¹⁾ パスファインダー：特定の主題について、関連する資料や情報をまとめたもの。相模原市の図書館では『テーマ別調べ案内』等を作成している。

⁽¹²⁾ レファレンス協同データベース：国立国会図書館が構築し、各図書館が協力して運営するレファレンス事例のデータベース。一般公開されているものはインターネット上で検索できる。相模原市立図書館ホームページからも、登録事例検索が可能である。

来館に関する指標 (平成27年度)

【実績値】

評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成26年度	平成27年度
①入館者数(人)	2,111,968 (+1.0%)	2,091,058 市立 537,016 大野 654,277 橋本 899,765	2,111,074 市立 575,970 大野 645,261 橋本 889,843
②おはなし会 参加者数(人) ※[]は開催回数	7,613 (+1.0%)	7,538 [379] 市立 2,324 [142] 大野 1,916 [103] 橋本 3,298 [134]	7,241 [371] 市立 2,334 [149] 大野 1,692 [103] 橋本 3,215 [119]
③レファレンスの 受付件数(件)	34,373 (-1.5%以内)	34,897 市立 14,333 大野 8,922 橋本 11,642	33,623 市立 14,863 大野 9,129 橋本 9,631

※②及び③の実績値の館別内訳は、分館分を市立に含む。

【内部評価】

来館に関する指標は、3項目いずれも目標を達成できなかった。

各館における来館特徴をみると、市立図書館は、すべての項目で増加となり、特に①入館者数については4万人近い増となった。相模大野図書館は、③レファレンスの受付件数が微増となり、橋本図書館は、すべての項目で前年の数値を下回った。

②おはなし会参加人数については、1回当たりの参加者数を館別で見ると、橋本図書館は平成26年度24.6人、27年度27.0人と、市立図書館と相模大野図書館が15人～16人であるのに比べて多くの参加者を集めている。

今後は、利用者の需要や来館者の傾向を考慮しながら検証し、おはなし会の参加者の確保に努めたい。

また、レファレンスサービスを身近な図書館サービスの1つとして利用ができるように周知を図るとともに、調べものに有用な商用データベース等の活用方法を積極的に紹介することで、利用者の情報リテラシーを支援していきたい。

【外部評価】

○評価

- ・ 市立図書館の来館者数の増加は、人口減少などを考慮すると特筆すべき数値。
- ・ 一定数の参加があるおはなし会は、小さい頃から図書館の利用が気軽にできる意識を育てる機会になる。

- ・ 専門職の知識や外部機関の専門性を活かした連携事業は、図書館活動事業の周知になる。

○課題

- ・ イベント等における企画内容と時期の検討及び対象者への周知。
- ・ レファレンスサービスを市民の身近なサービスとして認識してもらうための周知。
- ・ レファレンスサービスにおける専門職員の確保及び育成。
- ・ 年度ごとの数値にとらわれない多様で冷静な視点での分析。
- ・ 来館者に寄り添った図書館サービスを提供できる仕組み作り。
- ・ 各種事業における職員の負担過重。

来館に関する指標 (平成28年度)

【実績値】

評価項目	目標値(対前年比)	実績値	
		平成27年度	平成28年度
①入館者数(人)	2,132,184 (+1.0%)	2,111,074 市立 575,970 大野 645,261 橋本 889,843	2,027,045 市立 559,952 大野 614,147 橋本 852,946
②おはなし会 参加者数(人) ※[]は開催回数	7,313 (+1.0%)	7,241 [371] 市立 2,334 [149] 大野 1,692 [103] 橋本 3,215 [119]	7,347 [362] 市立 2,413 [152] 大野 2,012 [98] 橋本 2,922 [112]
③レファレンスの 受付件数(件)	33,118 (-1.5%以内)	33,623 市立 14,863 大野 9,129 橋本 9,631	36,850 市立 15,784 大野 10,781 橋本 10,285

※②及び③の実績値の館別内訳は、分館分を市立に含む。

【内部評価】

平成28年度の①入館者数は、2,027,045人で、前年度と比べ84,029人(3.9%)の減となり、目標値を達成することができなかった。図書館への来館目的としては、従来資料の貸出・返却がかなりの割合を占めてきたが、利用者の要求が多様化する中で、「滞在型図書館」として滞在利用を充実させる例も他の市町村図書館では見受けられる。資料提供という役割を果たしつつも、利用者が図書館に求めるニーズを多角的に研究していく必要がある。

来館者が減少する一方で、②おはなし会参加者数と③レファレンスの受付件数は増加した。

②おはなし会参加者数は、106人(1.4%)の増となり、目標値を達成することができた。実施回数と参加者数の館別内訳を見ると、市立図書館はいずれも増加、相模大野図書館は回数減・参加者数増、橋本図書館はいずれも減少となった。相模大野図書館は、回数減少にも関わらず参加者数が増加している。定例的なおはなし会のほか、「おはなし会『まるごとえ・い・ご』」のような多文化に触れる新しい取組でも参加者を集めている。子どもの年齢に応じたおはなし会が定着しつつある一方で、多文化サービスや高齢者サービスの視点など、おはなし会にも様々な要素を含めることにより、新規利用者の利用につながると考えられる。

また、読書普及という観点からは、子育て世代も含め、おはなし会等の参加型のイベントを読書へつなげる施策の研究が必要である。

③レファレンスの受付件数は増加に転じ、前年度と比べ3,227件(9.5%)の増となった。各館での「事業に関するアンケート」の結果では、

調べものの目的での来館は60歳代以上の割合が高くなっている。

調べものに対する直接的な支援のほか、パスファインダー作成やレファレンス協同データベースへの相談事例登録などの間接的な支援を各館で実施している。事例を蓄積し広く公開することにより、レファレンスサービスの周知や業務効率化につながっている。事例の更なる活用方法として、事例の傾向分析により利用者の課題を把握し、事業の実施や資料収集へとつなげる視点も必要である。橋本図書館では、登録事例の被参照件数や掲載件数を評価され、国立国会図書館から平成21年度以降表彰を受け続けている。

情報通信技術の発達に伴い、個人が自ら調べる環境は今後も変化していくと思われる。受付傾向の推移や利用者ニーズを見極めながら、サービスの充実を図りたい。

【外部評価】

○評価

- ・ 入館者数が目標値を下回ってはいるが、利用者のニーズが多様化している中で、おはなし会参加者数とレファレンス受付件数が増加している。
- ・ 3館とも来館者数増加のために、様々な工夫を凝らしたイベントを実施している。特に、おはなし会の参加者（3館合計）の増加は、今後の読書活動の推進につながる明るい要素である。
- ・ 子ども向け、YA向け、あるいは季節に合わせて、内容の充実した多種多様な図書館報が発行されている。
- ・ 子どもに関するイベントや、大人では身近な関心ごとの講座などが各館充実している。また、利用者の少ない若者にターゲットをあてた企画の実施、機関紙や展示など手作りで親しみが持てる。
- ・ レファレンス件数の増加については、パスファインダー作成や国立国会図書館のレファレンス協同データベースの活用が評価できる。
- ・ おはなし会をはじめとする各種イベントをともなう、来館充実に向けた各館の取組は、大いに評価に値する。中でも「滞在型図書館」との新たな視点が加わり、分析がなされているのは大変に意義深い。

○課題

- ・ 市立図書館の再整備に向けての十分な検討。
- ・ 多文化、多世代交流ができるような要素を含んだ事業の更なる充実。
- ・ 来館者同士が情報交換の機会を持てるような工夫。
- ・ 「レファレンス」などの専門用語について、利用者側に立った分かりやすい案内の工夫。
- ・ 事業に関するアンケートの結果を踏まえた社会人向けイベントの実施。
- ・ レファレンスサービスの増加を見込んだ、サービスの更なる充実。
- ・ 専門職員の能力を活かしたレファレンスサービスへの取組。
- ・ レファレンスサービスの積極的な周知。
- ・ レファレンスや多文化、障害者サービス等の各種サービスの充実に向けた取組の質的な評価。
- ・ 滞在型図書館機能（カフェ併設等）の検討。
- ・ 滞在型利用の状況を把握するための、館内滞在時間などのアンケートの

実施。

- 電子図書 の 充実 の 検討。
- 指標間の関係性を考慮した目標値の検討。

2 各館評価(定性評価)

(1) 市立図書館

【平成26年度の主な事業】

事業1	中央図書館機能の確立に向けた検討
事業2	情報発信及び図書館サービスの提供
事業3	第二次子ども読書活動推進計画に係る事業
事業4	連携による新たなサービスの調査・研究

事業1	中央図書館機能の確立に向けた検討				
事業内容	本市図書館ネットワークの中心となり、図書館施策を総合的に企画推進する中央図書館機能の確立に向けた検討を行う。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
	会議		相模原市における図書館の管理運営検討委員会	・相模原市における中央図書館機能についての考え方の策定について ・本市図書館に係る諸課題の検討経緯について	2回実施 (6/13、2/13)
			相模原市における図書館の管理運営検討委員会作業部会	・本市にふさわしい中央図書館機能と組織体制についての協議	2回実施 (11/26、1/30)
	視察		横浜市中心図書館及び都築図書館の視察	中央図書館機能や上溝方面図書館機能の検討に参考となる図書館を視察	1回実施 (12/25)
内部評価	中央図書館機能の確立に向け、相模原市における図書館の管理運営検討委員会・作業部会において「中央図書館機能についての考え方」の整理及び検討を進めた。中央図書館として必要とされる機能の洗い出しを行った。				

事業 2	情報発信及び図書館サービスの提供			
事業内容	図書館情報を積極的に発信するとともに、市民ニーズに応じたサービスの提供に努める。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	広聴・広報	図書館報 TOMTON の発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 4回
		リトルトントンの発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 11回
		わい'ず★とんとんの発行	中高生世代向け読書案内の作成・配布	発行回数 6回
		ホームページによる情報発信	各事業の紹介・周知	件数 73回
		あなたの声	図書館に対する意見箱の設置と回答の公表	件数 41件
	蔵書構築	図書資料の収集・提供 (雑誌・AV資料を除く)	特色を生かした図書資料の収集や予約・リクエスト資料の提供	26年度蔵書冊数 334,819冊 (図書資料) 26年度購入冊数 5,896冊 (図書資料) 26年度貸出点数 671,119冊 26年度予約・リクエスト処理件数 86,717件
	講座	歴史講座 「花燃ゆ」の世界	大野北公民館と連携し、専門家による講義を実施	参加者数 延べ 272人
		はじめてのわらべうた・手あそび講座	大野北公民館との共催で、0～2歳の幼児とその保護者を対象としたわらべうたと手遊びの実技講座を実施	参加者数 延べ 75組

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	講座	読書普及講座 「ストーリーテリング ⁽¹³⁾ 入門講座」	ストーリーテリングの基礎知識の習得と実践のための講座	参加者数 延べ62人
		布えほんボランティア養成講座	大野北公民館との共催で、地域ボランティア活動としての布絵本製作と実技指導の講座を実施	参加者数 延べ38人
	展示	特集展示の実施	時宜に合わせた展示を実施	件数 12件
内部評価	<p>図書館報及び図書館ホームページの活用、時宜に応じた特集展示やブックリストの配布など、積極的な情報発信を行った。</p> <p>また、館内に設置してある「あなたの声」(意見箱)に寄せられた意見をもとに、市民ニーズに応じた資料収集を行うとともに、各種講座等を開催し、図書館サービスの充実を図った。</p>			

⁽¹³⁾ ストーリーテリング：語り手が物語を覚えて語り聞かせること。

事業3	第二次子ども読書活動推進計画に係る事業			
事業内容	家庭、地域、図書館、学校等の相互連携や協力関係を更に深め、第二次子ども読書活動推進計画の推進に努める。			
実施内容	1. 市立図書館			
	事業項目	実施事業	内容	結果
	おはなし会 (定例)	おはなし会 (2～6歳児向け)	2～6歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ1,143人
	イベント (児童対象)	子ども読書の日記念事業 「キッズ☆フェスタ (14)2014」	講演会、人形劇、朗読、絵本とおはなし、布絵本おはなし会などを開催 ※4館の合同開催	参加者数 延べ506人 (4館合計)
		はじめてのわらべうた・手あそび講座 [P25再掲]	大野北公民館との共催で、0～2歳の幼児とその保護者を対象としたわらべうたと手遊びの実技講座を実施	参加者数 延べ75組
		読書スタンプラリー	図書館が選定した本の内容のクイズや本探し、図書館に関するクイズに答え、正解者に記念品を贈呈 ※4館の合同開催	参加者数 延べ1,403人 (4館合計)
布えほん展		「布おもちゃサークル・ピノキオ」との共催で、布絵本・布おもちゃなどの展示と、布絵本・エプロンシアター ⁽¹⁵⁾ などを使ったおはなし会を開催	参加者数 延べ352人	

(14) キッズフェスタ：市内4館合同で開催する子ども読書の日記念事業。市立図書館を会場に講演会やおはなし会等を行う。

(15) エプロンシアター：エプロンを舞台に見立てて演じ手が物語を展開させていく人形劇。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)		夏休み子ども 不思議実験教室	小学生を対象とした、実験工作及び関連するブックトーク ⁽¹⁶⁾
		夏の大きな おはなし会	素話、ペープサート ⁽¹⁷⁾ 、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 22人
		人形劇	人形劇団ブークによる公演	参加者数 46人
		冬の大きな おはなし会	人形劇、パネルシアター ⁽¹⁸⁾ 、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 106人
		子ども不思議 実験教室	小学生を対象とした、実験工作及び関連するブックトーク	参加者数 23人
		春の大きな おはなし会	人形劇、エプロンシアター、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 179人
		オリジナルストーリーによる世界に一つだけの紙芝居を作ってみよう!	オリジナルストーリーによる紙芝居の制作及び実演を学ぶ	参加者数 延べ 32人
学校支援		学校支援図書セットの貸出	小・中学校を対象に授業や調べ学習に役立つ図書を配送で貸出	貸出回数 延べ 42回
		職業体験	窓口業務、書架整理、装備などの図書館業務の体験	延べ 12校 延べ 76人

⁽¹⁶⁾ ブックトーク：特定のテーマに沿って何冊かの本の内容を紹介すること。

⁽¹⁷⁾ ペープサート：表裏に物語の登場人物を描いた厚紙に割り箸状の棒を貼り付け、物語の進行に合わせて棒を繰る紙人形劇。

⁽¹⁸⁾ パネルシアター：布を貼ったボード（パネル板）に、絵を貼ったり外したりしながら物語などを演じる。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	学校支援	施設見学	図書館の概要と利用方法を紹介し、フロア案内や書庫などを見学	延べ8校 延べ381人
	出向サービス	依頼により直接学校に出向き、ブックトークなどを実施	5回	
	調べ学習の受入	市内の小・中学校が行う調べ学習の受入	1校 52人	
ボランティアの養成及び活動支援	読書普及講座「ストーリーテリング入門講座」 [P26再掲]	ストーリーテリングの基礎知識の習得と実践のための講座	参加者数 延べ62人	
	布えほんボランティア養成講座 [P26再掲]	大野北公民館との共催による、地域ボランティア活動としての布絵本製作と実技指導の講座を実施	参加者数 延べ38人	
その他	くるくるブック事業(児童書)	市の児童関連施設等に児童書のリサイクル図書を提供 ※3館の合同開催	参加団体 37団体 提供資料 1,283冊 (3館合計)	
2. 相武台分館				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	おはなし会(定例)	おはなし会	ボランティア団体との共催による、小学校低学年までを対象にしたおはなし会	参加者数 延べ874人
	イベント(児童対象)	夏の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ63人※

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	夏の夕べの かみしばいの 会	ボランティア団 体との共催によ る、隣接公園で の紙芝居	参加者数 延べ32人
		冬の大きな おはなし会	人形劇など	参加者数 延べ47人※
		春の大きな おはなし会	人形劇絵本の読 み聞かせなど	参加者数 延べ70人※
※春・夏・冬の大きなおはなし会の参加者数は、定例おはなし会の参加者数の内数字				
内部評価	<p>公民館との連携による布絵本講座等を開催するとともに、学校の学習を支援するため、学校支援図書セット制度の充実や調べ学習・職業体験、施設見学の積極的な受け入れを行った。また、障害者サービスとして布絵本の貸出や、子育て支援の一助として乳児向け事業の実施をするなど、第二次子ども読書活動推進計画の推進に努めた。</p>			

事業 4	連携による新たなサービスの調査・研究														
事業内容	公共施設等との連携による新たなサービスの提供について、調査・研究を行う。														
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>実施事業</th> <th>内容</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">調査・研究</td> <td>上溝高校図書室地域開放に係る打合せ</td> <td>新しく改築する上溝高校図書室の地域開放について学校と市で検討</td> <td>3回実施 (5/13、6/25、9/30)</td> </tr> <tr> <td>横浜市中心図書館及び都築図書館の視察 [P24 再掲]</td> <td>中央図書館機能や上溝方面図書館機能の検討に参考となる図書館を視察</td> <td>1回実施 (12/25)</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	調査・研究	上溝高校図書室地域開放に係る打合せ	新しく改築する上溝高校図書室の地域開放について学校と市で検討	3回実施 (5/13、6/25、9/30)	横浜市中心図書館及び都築図書館の視察 [P24 再掲]	中央図書館機能や上溝方面図書館機能の検討に参考となる図書館を視察	1回実施 (12/25)
	事業項目	実施事業	内容	結果											
	調査・研究	上溝高校図書室地域開放に係る打合せ	新しく改築する上溝高校図書室の地域開放について学校と市で検討	3回実施 (5/13、6/25、9/30)											
横浜市中心図書館及び都築図書館の視察 [P24 再掲]		中央図書館機能や上溝方面図書館機能の検討に参考となる図書館を視察	1回実施 (12/25)												
内部評価	上溝方面図書館機能を検討する中で、公共施設との連携による新たなサービスの提供について、調査・研究を行った。具体的には、上溝地域にある県立高校図書室の地域への解放に向けた協議を学校側と行い、試験的な実施について方向性を確認した。														

【平成27年度の主な事業】

- 事業1 図書館資料の収集及び利用の促進
 事業2 第二次子ども読書活動推進計画の改定版作成
 事業3 図書館評価内容等の検討

事業1	図書館資料の収集及び利用の促進																					
事業内容	市民の学習を支え、豊かな暮らしに役立つ幅広い分野の資料、情報の収集を行う。 また、市民の身近な図書館として、市民ニーズに即した積極的な啓発活動、情報発信を行う。																					
実施内容	<p>1. 市立図書館</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>実施事業</th> <th>内容</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">おはなし会 (定例)</td> <td>わらべうた会 (0~2歳児向け)</td> <td>2歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど</td> <td>参加者数 延べ211人</td> </tr> <tr> <td>おはなし会 (2~6歳児向け)</td> <td>2~6歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会</td> <td>参加者数 延べ1,227人</td> </tr> <tr> <td>かみしばい会</td> <td>子どもを対象にした紙芝居の上演</td> <td>参加者数 延べ624人</td> </tr> <tr> <td>紙芝居劇場</td> <td>大人を対象とした紙芝居の上演</td> <td>参加者数 延べ164人</td> </tr> <tr> <td>イベント (児童対象)</td> <td>子ども読書の日 記念事業 「キッズ☆フェスタ2015」</td> <td>講演会、人形劇、朗読、絵本とお話、布絵本おはなし会など ※4館合同開催</td> <td>参加者数 延べ505人</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	実施事業	内容	結果	おはなし会 (定例)	わらべうた会 (0~2歳児向け)	2歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ211人	おはなし会 (2~6歳児向け)	2~6歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ1,227人	かみしばい会	子どもを対象にした紙芝居の上演	参加者数 延べ624人	紙芝居劇場	大人を対象とした紙芝居の上演	参加者数 延べ164人	イベント (児童対象)	子ども読書の日 記念事業 「キッズ☆フェスタ2015」	講演会、人形劇、朗読、絵本とお話、布絵本おはなし会など ※4館合同開催	参加者数 延べ505人
事業項目	実施事業	内容	結果																			
おはなし会 (定例)	わらべうた会 (0~2歳児向け)	2歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ211人																			
	おはなし会 (2~6歳児向け)	2~6歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ1,227人																			
	かみしばい会	子どもを対象にした紙芝居の上演	参加者数 延べ624人																			
	紙芝居劇場	大人を対象とした紙芝居の上演	参加者数 延べ164人																			
イベント (児童対象)	子ども読書の日 記念事業 「キッズ☆フェスタ2015」	講演会、人形劇、朗読、絵本とお話、布絵本おはなし会など ※4館合同開催	参加者数 延べ505人																			

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	読書スタンプラリー	図書館が選定した本の内容のクイズや本探し、図書館に関するクイズに答え、正解者に記念品を贈呈 ※4館の合同開催	参加者数 延べ1,508人 (4館合計)
		布えほん展	「布おもちゃサークル・ピノキオ」との共催で、布絵本・布おもちゃなどの展示と、布絵本・エプロンシアターなどを使ったおはなし会を開催	参加者数 延べ399人
		夏休み子ども不思議実験教室	実験とブックトーク	参加者数 25人
		夏の大きなおはなし会	素話、ペープサート、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ44人
		子育て支援事業 「ハロウィーンを楽しもう！」	大野北公民館と連携し、ハロウィーンにちなんだおはなし会と、親子でのお菓子作りを開催	参加者数 延べ30人
		街頭紙芝居	街頭紙芝居用自転車を活用して実演	参加者数 延べ57人
		冬の大きなおはなし会	人形劇、パネルシアター、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ93人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	子育て支援事業 「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」	大野北公民館と連携し、布絵本や布おもちゃなどの展示と、布絵本などを使ったおはなし会を開催	参加者数 延べ 305 人
		子ども不思議実験教室	実験とブックトーク	参加者数 18 人
		春の大きなおはなし会	人形劇、エプロンシアター、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 97 人
		つくっちゃおうかみしばい!	小学生を対象とし、紙芝居の制作と実演方法を学び、平成 28 年 4 月 23 日開催の「キッズ☆フェスタ 2016」で発表会を実施	参加者数 延べ 36 人
	イベント (一般対象)	図書館マナーアップキャンペーン	汚破損資料の展示、マナー川柳の募集	応募作品 延べ 39 作品
		図書館マナーアップキャンペーン 第 2 弾	募集したマナー川柳の一般投票と、選出されたマナー川柳 8 作品を印刷した期限票の配布	期限票配布数 16,000 枚
		将来の学びを見つけよう! アメリカ留学説明会	アメリカンセンター J a p a n から講師を招き、アメリカ留学に関心のある学生や保護者に向けた説明会を実施	参加者数 11 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	イベント (一般対象)		読書普及講座 「ストーリーテリング中級編」	ストーリーテリングの知識の習得と実践	参加者数 延べ41人
			「読書週間」 推進事業 「読書の楽しみ方再発見！！ 図書館の魅力を大公開」	読書を楽しむための方法や、図書館の活用法がわかる本の紹介と「図書館の自由」に関するパネル展示	—
			「読書週間」 推進事業 「読書の楽しみ方再発見！！ 図書館の魅力を大公開」第2弾	・さがみんによる図書館ツアーや、本が装備されて蔵書となるまでの過程を紹介した展示を設置 ・目録カードの配布と浮出プレスの体験を実施	—
			法律講座「終活を考えた遺言書の作り方」	“終活”を考えた遺言書の作り方を学び、必要な法律に触れる	参加者数 33人
			としょかん福袋	内容が見えないようにした蔵書を袋に入れて貸し出し	提供数 62セット
			歴史講座 「戦国時代の武将 真田幸村入門」	大野北公民館と連携し、専門家による講義を実施	参加者数 延べ311人
			くるくるブックコーナー	リサイクル図書(除籍資料)の提供	提供資料数 3,995冊

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	広報		図書館報 T O M T O N の 発行	一般向け図書館 報の作成・配布
		リトルトントンの 発行	子ども向け読書 案内の作成・配 布	発行回数 11回
		わい'ず★と んとんの発行	中高生向け読書 案内の作成・配 布	発行回数 6回
		広報さがみは らへの掲載	各事業の紹介・ 周知	件数 23件
		S N S による 情報発信の開始	平成27年10月 6日より、情報 発信ツールとし てツイッター及 びフェイスブッ クを開始	発信回数 ツイッター : 157件 フェイスブッ ク : 108件
蔵書構築		資料の収集・提 供	特色を生かした 資料の収集や予 約・リクエスト 資料の提供	27年度所蔵点数 351,874冊 (図書・AV資料 計) 27年度購入冊数 8,577冊 (図書・AV資 料・雑誌計) 27年度貸出冊数 660,753冊
その他		展示	展示(随時実施)	件数 21件
		庁内情報発信	庁内各課機関と の連携企画	件数 10件
		くるくるブッ ク事業(児童 書)	市の児童関連施 設等に児童書の リサイクル図書 (除籍資料)を提 供 ※3館合同開催	参加団体 19団体 提供資料数 合計836冊 (3館合計)

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	その他		国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの運用開始	平成27年10月1日より、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用提供を開始。国立国会図書館でデジタル化された図書・雑誌などの約142万点の資料を、館内専用端末で閲覧・印刷ができるようになった。 ※3館で開始
2. 相武台分館				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	おはなし会 (定例)	おはなし会	ボランティアグループとの共催による、小学校低学年までを対象にしたおはなし会	参加者数 延べ695人
	イベント (児童対象)	夏の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ53人
		夏の夕べのかみしばいの会	ボランティア団体との共催による、隣接公園での紙芝居	参加者数 延べ31人
		冬の大きなおはなし会	人形劇など	参加者数 延べ64人
		春の大きなおはなし会	人形劇絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ61人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	蔵書構築	資料の収集・提供	特色を生かした資料の収集や予約・リクエスト資料の提供	27年度蔵書冊数 42,687冊(図書資料) 27年度購入冊数 1,845冊 27年度貸出冊数 113,835冊
内部評価	<p>国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用提供開始により、今までは国立国会図書館へ直接出向かないと閲覧できなかった過去の専門的な資料等がデジタル閲覧できるようになった。</p> <p>S N S の情報発信においては、これまでの『広報さがみはら』や図書館ホームページ等に加え、来館していない利用者へのP R として活用している。また、即時性に優れた特徴を生かして、イベント開催状況や、駐車場の満車状況など施設に関する緊急のお知らせを発信できるようになった。</p> <p>子ども向けのおはなし会をはじめ、大野北公民館との連携事業などを行い、一定の集客を得ているが、イベントの対象や参加者に偏りがあり、幅広い層の住民が参加できる企画の立案と、利用者への周知が今後の課題である。</p>			

事業 2	第二次子ども読書活動推進計画の改訂版作成													
事業内容	本計画の期間は平成23年度から平成31年度までとしており、計画の中で、具体的な施策にかかる部分については、平成27年度を目途に見直すこととしていたことから、これまでの具体的な取組についての検証・評価を行い、今後の読書活動の推進にかかる課題を整理し、新たな取組や変更が生じた名称等を追補し改訂版の作成を行う。													
実施内容	<table border="1" data-bbox="379 633 1369 981"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 633 608 712">事業項目</th> <th data-bbox="608 633 836 712">実施事業</th> <th data-bbox="836 633 1099 712">内容</th> <th data-bbox="1099 633 1369 712">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 712 608 981" rowspan="2">会議</td> <td data-bbox="608 712 836 846">推進会議</td> <td data-bbox="836 712 1099 981" rowspan="2">具体的な取組や変更が生じた部分の確認と評価</td> <td data-bbox="1099 712 1369 846">3回実施 (5/21、1/22、3/30)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 846 836 981">担当者会議</td> <td data-bbox="1099 846 1369 981">4回実施 (6/18、7/31、11/11、2/2)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="379 1025 1380 1227">本計画を策定した後の主な施策と具体的な取組にかかる進捗管理は、相模原市子ども読書活動推進会議が行っている。平成27年度には、推進会議を3回、担当者会議を4回開催した。会議では、具体的な取組や変更が生じた部分の確認と評価を行い、「取組への評価と今後の方針」としてまとめた。</p> <p data-bbox="379 1234 1380 1312">改訂版の作成については教育委員会へ報告するとともに、市のホームページに掲載する。</p>				事業項目	実施事業	内容	結果	会議	推進会議	具体的な取組や変更が生じた部分の確認と評価	3回実施 (5/21、1/22、3/30)	担当者会議	4回実施 (6/18、7/31、11/11、2/2)
事業項目	実施事業	内容	結果											
会議	推進会議	具体的な取組や変更が生じた部分の確認と評価	3回実施 (5/21、1/22、3/30)											
	担当者会議		4回実施 (6/18、7/31、11/11、2/2)											
内部評価	改訂版の作成にあたり、子ども読書活動の推進を図る取組について、関係各課の取組に関する情報共有を行うとともに、連携を図り、これまでの取り組みに対する評価と今後の課題をまとめた。													

事業 3	図書館評価内容等の検討												
事業内容	図書館法第7条の3に基づき「図書館評価」を実施するため、評価内容、外部評価の方法、利用者評価の方法、評価公表の時期等の検討を行う。												
実施内容	<table border="1" data-bbox="379 495 1369 938"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 495 608 577">事業項目</th> <th data-bbox="608 495 836 577">実施事業</th> <th data-bbox="836 495 1099 577">内容</th> <th data-bbox="1099 495 1369 577">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 577 608 757">会議</td> <td data-bbox="608 577 836 757">担当者会議</td> <td data-bbox="836 577 1099 757">図書館評価実施に向け、各館担当者と調整</td> <td data-bbox="1099 577 1369 757">3回実施 (7/8、8/25、1/19)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 757 608 938"></td> <td data-bbox="608 757 836 938">図書館協議会</td> <td data-bbox="836 757 1099 938">図書館協議会委員に対し図書館評価の説明</td> <td data-bbox="1099 757 1369 938">第3回相模原市立図書館協議会 (2/16)</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	実施事業	内容	結果	会議	担当者会議	図書館評価実施に向け、各館担当者と調整	3回実施 (7/8、8/25、1/19)		図書館協議会	図書館協議会委員に対し図書館評価の説明	第3回相模原市立図書館協議会 (2/16)
事業項目	実施事業	内容	結果										
会議	担当者会議	図書館評価実施に向け、各館担当者と調整	3回実施 (7/8、8/25、1/19)										
	図書館協議会	図書館協議会委員に対し図書館評価の説明	第3回相模原市立図書館協議会 (2/16)										
内部評価	<p>今年度は、全体評価の指標と目標値の考え方及び各館評価における外部評価について、図書館3館の担当者による担当者会議を行った。</p> <p>全体評価は、図書館基本計画に掲載されている5つの目標を指標として、それに関する目標値の考え方を整理した。各館評価は、各館の来館者に対してアンケートを実施し、その結果を外部評価として用いることとした。</p> <p>担当者会議で検討した内容は、第3回相模原市立図書館協議会の議題として提案し、図書館協議会委員の意見を伺った。委員からは、方向性について概ね了承をいただいた。一方で、今後の評価作業に係るスケジュールについて次回の図書館協議会で具体的に示して欲しいという意見をいただいた。</p> <p>今後も各館担当者、各関係課、図書館協議会委員において議論を重ねることで、図書館の運営の改善を図るために必要な評価方法の検討を行い実施していきたい。</p>												

【平成28年度の主な事業】

- 事業1 図書館利用の促進と読書普及に係る事業
 事業2 資料充実、並びに蔵書の活用に係る事業
 事業3 管理及び運営に係る事業

事業1	図書館利用の促進と読書普及に係る事業			
事業内容	各世代のニーズに応じて、講座やおはなし会等のイベントの開催、テーマを設けた展示等を通じて、利用者が求める情報を提供するとともに、それぞれの取組が貸出につながるよう事業を実施する。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業	わらべうた会	2歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ592人
		おはなし会	2～6歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ1,354人
		かみしばい会	子どもを対象にした紙芝居の上演	参加者数 延べ525人
		子ども読書の日記念事業 「キッズ★フェスタ2016」	講演会、人形劇、朗読、絵本とお話、布絵本おはなし会などを開催 ※4館合同開催	参加者数 延べ458人
調べるっておもしろい！～図書館で調べて、新聞をつくらう～		「図書館と市民をつなぐ会・相模原」と共催で、小中学生を対象に、図書館資料を使って新聞を作成する講座を開催	参加者数 11人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業	街頭紙芝居	街頭紙芝居用自転車を活用して屋外で紙芝居等を実演	参加者数 延べ78人
		子ども読書スタンプラリー	4歳～小学生を対象に、本の内容や図書館に関するクイズに答え、正解者に記念品を贈呈 ※4館合同開催	参加者数 延べ1,249人 (4館合計)
		読んでみよう！書いてみよう！ 読書記録ノート	中学生以下を対象に、自分の読んだ本を記録できる「読書記録ノート」を作成し配布	配布冊数 118冊
		布えほん展	「布おもちゃサークル・ピノキオ」と共催で、布絵本・布おもちゃなどの展示と、布絵本・エプロンシアターなどを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ355人
		図書館ウォッチ!	書庫の見学や本の装備体験、映画鑑賞、スタンプラリーを実施	参加者数 延べ22人
		自分だけのランプシェードを作ろう!	工作を通じて来館する機会を増やし、資料を紹介し読書への興味を促すことを目的に実施	参加者数 10人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	子どもに向けた事業		夏の大きなおはなし会	大型絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどによるおはなし会	参加者数 延べ 46 人
			夏休み子ども不思議実験教室「葉っぱを科学する」	実験を通じた植物の生態についての学習とブックトークを実施	参加者数 28 人
			子育て支援事業「親子で秋をたのしもう！おはなし会 & おかし作り」	大野北公民館と連携し、秋の味覚を使った料理教室と、大型絵本・大型紙芝居などを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ 19 人
			冬の大きなおはなし会	人形劇、パネルシアター、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 107 人
			としょかん福袋	大人用は 2 冊、子ども用は 3 冊を 1 セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	62 セット提供 (うち子ども用 31 セット)
			子ども不思議実験教室「静電気の不思議」	静電気についての学習とブックトークを実施	参加者数 27 人
			つくっちゃおうかみしばい！	アートラボはしもとと連携し、オリジナルストーリーによる紙芝居の制作及びその実演方法を学ぶ	参加者数 延べ 32 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに 向けた事業		春のおおきな おはなし会	人形劇、大型紙 芝居、大型絵本 の読み聞かせなど
		特集展示	児童書をテーマ にした特集展示 を実施	件数 8件
		リトルトント ンの発行	子ども向け読書 案内の作成・配 布	発行回数 11回
子どもに 向けた事業 (相武台分館)		おはなし会	ボランティアグ ループとの共催 による、小学校 低学年までを対 象にしたおはな し会	参加者数 延べ592人
		夏の大きな おはなし会	人形劇、絵本の 読み聞かせなど	参加者数 延べ40人
		調べるってお もしろい！ ～図書館で好 きなことを調 べてみよう～	図書館と市民を つなぐ会・相模 原との共催で、 小中学生を対象 に、図書館資料 を使ってポス ターや冊子を作 成する講座を実 施	参加者数 8人
		夏の木かげの かみしばいの 会	ボランティアグ ループとの共催 による、隣接公 園での紙芝居の 読み聞かせ	参加者数 延べ22人
		冬の大きな おはなし会	人形劇、絵本の 読み聞かせなど	参加者数 延べ73人
		春の大きな おはなし会	人形劇、絵本の 読み聞かせなど	参加者数 延べ82人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもの読書を支える人たちへの事業		団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度
		学校支援図書セットの貸出	市内小中学校を対象に、テーマごとに 30 冊程度の資料を集めたセットを配送し貸出	利用学校数 17 校 貸出回数 延べ 46 回
		児童書リサイクル事業	図書館 3 館合同で、市の児童関連施設等に児童書のリサイクル図書を提供	提供資料 2,670 冊 (3 館合計)
		児童書研究コーナーの新設	子どもの本のフロア内に、読み聞かせや児童書に関する本のコーナーを新設	コーナー設置時 蔵書冊数 約 600 冊
一般利用者を対象とした事業		紙芝居劇場	大人を対象とした紙芝居の上演	参加者数 延べ 107 人
		としよかん落語 @ふちのべ座 ~落研の落語を楽しみませんか?~	地元 3 大学の落語研究会の学生による落語会	参加者数 96 人
		読書普及講座「相模原で生まれたおはなしたち」	市内で創作された作品の紹介を、作者自身により講演(全 3 回)	参加者数 延べ 77 人
		図書館クラシックのススメ ~図書館で始める楽しいクラシック~	講師による講義、クラシック鑑賞・聞き比べ、関連資料の紹介	参加者数 21 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般利用者を対象とした事業	大人のためのおはなし会	大人向けの語りによるおはなし会	参加者数 延べ72人
		バースデーブックメーカー	誕生日の作家や記念日に関する図書を紹介したしおりを366日配布	毎月実施
		第8回「図書館ひろば」	図書館と市民をつなぐ会との共催で、古本市、折り紙教室、図書修繕実演、点訳体験、おはなし会などを実施	参加者数 延べ385人
		法律講座「終活と遺言書について考える」	県行政書士会相模原支部所属の行政書士による、遺言書作成に関する知識や備えについての講義	参加者数 39人
		としょかん福袋 [P43再掲]	大人用は2冊、子ども用は3冊を1セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	62セット提供 (うち大人用 31セット)
		歴史講座「おんな城主直虎の世界」	大野北公民館と連携し、NHK大河ドラマ主人公に関する、専門家やドラマ関係者による講義を実施	参加者数 延べ299人
		特集展示	一般利用者及び中高生世代に向けた展示を実施	展示回数 57回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般利用者を対象とした事業	くるくるブックコーナー	リサイクル図書 の提供	提供資料数 4,593冊
		図書館報 T O M T O N の発行	一般向け図書館 報の作成・配布	発行回数 4回
		わい'ず★ とんとんの発 行	中高生向け読書 案内の作成・配 布	発行回数 6回
内部評価	<p>ボランティア団体や関係機関と協力し、図書館で可能な支援を行いながら、子どもの読書活動を推進する事業を継続的に実施した。また、一般向け事業として、法律、歴史、音楽等様々な分野に関わるイベントや展示を実施し、そこから課題解決につながる情報を得たり、新たな視点で読書の楽しみに出会えたりするような工夫に努めた。</p> <p>子ども向けの定例の事業では、わらべうた会及び4～6歳向けのおはなし会で参加者数が増加している。子どもへの取組だけではなく、子育て世代のニーズ把握にも努め、合わせてサービスの充実を図りたい。</p> <p>学校支援は、年間を通じて実施しており一定の利用はあるものの、サービスの更なる周知が課題となっている。通常の広報手段に加え、e-ネットSAGAMI⁽¹⁹⁾での情報発信や、市の教育研究発表会で図書館の取組について発表するなど、積極的な事業の周知に努めている。</p> <p>一般向けの新たな取組として、「としょかん落語@ふちのべ座」「図書館クラシックのススメ」「バースデーブックマーカー」等を実施した。今後も図書館が所蔵する広い分野の資料を活用し、図書館の事業を入口として読書へつながるような取組を行いたい。</p>			

⁽¹⁹⁾ e-ネットSAGAMI：市内小中学校及び関連機関等を結ぶイントラネット。

利用者 アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、力を入れて取り組んでほしい事業として、「社会人を対象とした事業」「高齢者を対象とした事業」「子どもを対象とした事業」の順に回答数が多く、その3つで回答全体の約6割を占めている。良いと思われる事業としては、「おはなし会」(20.6%)、「歴史講座」(18.4%)、「紙芝居劇場」(15.1%)、「としょかん落語」(14.1%)の順に回答数が多かった。回答者の年代別で見ると、40歳代から60歳代の割合が多く、特に40・60歳代の事業への関心が高い結果となった。</p> <p>ただし、来館目的では「おはなし会や講座に参加するため」は1%未満の低い割合となっている。アンケートと事業の実施時期が必ずしも重なるものではないが、事業の認知度向上という点では課題である。</p> <p>事業に関する具体的な課題や要望として、周知方法の工夫や他市事例の研究による魅力ある事業の実施、ライフステージに応じた事業の実施等の意見があった。また、作家の講演会の開催といった具体的な要望も寄せられた。</p> <p>個別の事業の参加者によるアンケート結果では、概ね好評な意見が多く、様々な体験や学びの場として興味や関心を寄せて参加していることが伺われた。</p>
--------------	--

事業 2	資料充実、並びに蔵書の活用に係る事業			
事業内容	図書購入費を有効に活用できるように、講座や展示と連動した資料を購入するなど、特定のテーマに基づき新たな視点で選書を行い図書館資料の充実を図るとともに、今ある蔵書の利用が促進されるよう、書架の活用方法の刷新を図る。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	講座や展示と連携した資料の購入	関連資料の購入	講座や展示に関連する資料の購入	28年度購入冊数 7,101冊（図書・AV資料計）
	郷土資料の充実	郷土資料の収集	購入や寄贈による郷土資料の収集	28年度蔵書冊数 35,625冊
		公文書館連携展示	公文書館と連携し、郷土資料を活用した展示を実施	展示回数 2回
		庁内情報発信	庁内各課機関と連携し、事業の周知と、郷土資料等の関連資料を展示	件数 7件
		読書普及講座「相模原で生まれたおはなしたち」[P45再掲]	市内で創作された作品の紹介を、作者自身により講演（全3回）	参加者数 延べ77人
	書架内展示の実施と蔵書構成の見直し	書架内展示	書架内や書架付近に展示スペースを設け、テーマ展示を実施	展示回数 56件
		蔵書構成の見直し	中高生世代、高齢者世代に向けた本のコーナーを新設	コーナー設置時蔵書冊数 中高生世代向け 約1,200冊 高齢者世代向け 約250冊 児童書研究 約600冊

内部評価	<p>各種講座や展示等の事業実施に伴い蔵書の活用を図るとともに、事業のテーマに関連する資料の所蔵状況に応じて、より一層の充実に努めた。</p> <p>特定テーマに基づいた資料利用促進を図るために、利用が見込まれる中高生世代、高齢者世代、児童書研究の3つのコーナーを新設した。蔵書に新規購入資料を加え、コーナーとしてまとめて排架することで、既存の分類にとらわれない資料提供を目指した。</p> <p>郷土資料の一層の充実に努める取組として、地域活性化事業交付金等を活用し地域の団体が作成した資料の提供依頼を開始した。まちづくりセンターに協力を依頼し資料提供を受けることで、地域に関する貴重な資料の収集ができています。また、公文書館との連携展示では、展示した資料やブックリストに一定数の利用があり、郷土資料を周知する新たな機会となった。今後も公文書館や博物館などの機関と連携し、郷土を知る取組を通じて資料の利用につなげたい。</p> <p>書架内展示では、限られたスペースではあるものの、単に書架に本が並んでいるだけではなく、テーマを設けて展示の形式で資料の見せ方を工夫することにより、一定数の貸出につながっている。</p> <p>今後も資料利用を促進するために、資料の利用状況や社会的なニーズなどを見極めつつ、事業の実施や蔵書構築に努めたい。</p>
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、「本・雑誌・CD等を借りるため」や「本・雑誌・新聞を読むため」、「図書館の資料で調べものをするため」など、資料の利用に関する来館目的が約9割を占めている。自由意見についても図書館資料に関する内容が最も多く、資料の充実や蔵書の活用についての利用者の関心の高さが伺われる結果となった。</p> <p>具体的な意見では、新しい本の購入をはじめ、書架に並んでいる蔵書の更新、視聴覚資料等個別の分野の充実など、資料充実に関する要望が多かった。また、特定テーマに関連する資料の紹介など、展示やブックリストといった蔵書活用の工夫や、館内の読書環境の充実に関する要望も見受けられた。蔵書数は昨年度に引き続き増加しているが、これらの具体的な要望に対し、蔵書構成への反映を検討することが課題である。</p>

事業 3	管理及び運営に係る事業																					
事業内容	窓口業務委託による効率的な運営と、施設管理における計画的な維持管理に取り組むことで、利用者が快適に図書館を利用できるよう努める。																					
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 450 596 533">事業項目</th> <th data-bbox="596 450 847 533">実施事業</th> <th data-bbox="847 450 1114 533">内容</th> <th data-bbox="1114 450 1380 533">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 533 596 1037" rowspan="2">施設管理における計画的な維持管理</td> <td data-bbox="596 533 847 741">空調設備の維持管理</td> <td data-bbox="847 533 1114 741">快適な館内環境を保つため、空調設備用ポンプの計画修繕を実施</td> <td data-bbox="1114 533 1380 741">空調設備用ポンプの一部を修繕済み</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 741 847 1037">読書室の閲覧環境の整備</td> <td data-bbox="847 741 1114 1037">読書室の閲覧環境を整備するため、閲覧テーブルと椅子を新規購入し、傷みが著しいものと入れ替え</td> <td data-bbox="1114 741 1380 1037">椅子(16脚)と閲覧テーブル(1台)を入れ替え</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1037 596 1178" rowspan="2">窓口業務等委託の検証</td> <td data-bbox="596 1037 847 1178">あなたの「声」</td> <td data-bbox="847 1037 1114 1178">館内の意見箱に投函された意見や要望に回答</td> <td data-bbox="1114 1037 1380 1178">件数 44 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1178 847 1357">市民の声</td> <td data-bbox="847 1178 1114 1357">市の広聴システムを通じた意見や要望の受付及び回答</td> <td data-bbox="1114 1178 1380 1357">件数 45 件</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	施設管理における計画的な維持管理	空調設備の維持管理	快適な館内環境を保つため、空調設備用ポンプの計画修繕を実施	空調設備用ポンプの一部を修繕済み	読書室の閲覧環境の整備	読書室の閲覧環境を整備するため、閲覧テーブルと椅子を新規購入し、傷みが著しいものと入れ替え	椅子(16脚)と閲覧テーブル(1台)を入れ替え	窓口業務等委託の検証	あなたの「声」	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 44 件	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や要望の受付及び回答	件数 45 件
	事業項目	実施事業	内容	結果																		
	施設管理における計画的な維持管理	空調設備の維持管理	快適な館内環境を保つため、空調設備用ポンプの計画修繕を実施	空調設備用ポンプの一部を修繕済み																		
		読書室の閲覧環境の整備	読書室の閲覧環境を整備するため、閲覧テーブルと椅子を新規購入し、傷みが著しいものと入れ替え	椅子(16脚)と閲覧テーブル(1台)を入れ替え																		
	窓口業務等委託の検証	あなたの「声」	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 44 件																		
		市民の声	市の広聴システムを通じた意見や要望の受付及び回答	件数 45 件																		

内部評価	<p>計画的な施設修繕を実施し、図書館内の利用環境を維持するとともに、窓口業務等委託の検証を行うことで業務の効率化と利用者サービスの向上を図った。</p> <p>施設管理では、経年劣化が著しい空調設備用ポンプの一部について、更新修繕を実施した。残りのポンプについても、来年度以降計画的に修繕を実施し、空調設備の稼動を安定化させることで、図書館内の利用環境の維持に努める。</p> <p>また、昨年度に引き続き、読書室で使用している椅子（16脚）と閲覧テーブル（1台）を新規購入し、傷みが顕著なものを入れ替えた。今後も必要に応じて修繕等を計画する。</p> <p>窓口業務等委託の検証としては、館内に設置している意見箱や、市の広聴を通して寄せられる意見や要望の分析を行い、窓口サービス向上の参考としている。なお、委託事業者の変更に伴い、平成27年度末に実施した窓口サービスアンケートでは、前回実施時よりも満足度の向上が見られた。</p> <p>開館から40年以上が経過する市立図書館では、施設の老朽化に伴う課題が多い。今後も計画的な修繕や運用面での工夫、適切な利用者サービスにより、利用者満足度の向上に努めたい。</p>
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、施設管理及び運営に係る内容について、様々な角度から意見が寄せられている。</p> <p>窓口業務については、丁寧な接遇や、適切な資料提供への感謝を述べる意見がある一方で、人員面での効率化に対する意見も見られた。</p> <p>また、施設管理については、施設の老朽化に対する適切な維持管理、飲食スペースなど新たな目的での施設利用、利用対象に配慮した閲覧スペースの住み分けなど、意見や要望が多く寄せられている。既存の施設や設備を適切に管理しながら、サービスの向上や業務の効率化など窓口業務等委託の効果について継続的に検証し、より良い図書館運営を目指すことが課題である。</p>

(2) 相模大野図書館

【平成26年度の主な事業】

- 事業1 情報の発信と収集によるサービスの充実
 事業2 子ども読書活動の推進と読書に親しむ機会の充実
 事業3 市民の生涯学習支援のための事業の充実と活動の場の提供

事業1	情報の発信と収集によるサービスの充実				
事業内容	地域の情報拠点として情報の発信・収集を積極的に行い、情報環境の整備に努めるとともに、利用者ニーズに応じた図書館サービスの充実に努める。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
		蔵書構築	図書資料の収集・提供 (雑誌・AV資料を除く)	特色を生かした 図書資料の収集 や予約・リクエスト資料の提供	26年度蔵書冊数 298,703冊(図書資料) 26年度購入冊数 4,433冊(図書資料) 26年度貸出冊数 594,150冊
		展示	特集コーナー 及びミニ特集 コーナーでの 展示	各分類や時節ご とにテーマを決 め、関連資料を 展示	件数 24件 (分類特集 12 件、テーマ特集 12件)
		連携展示	行政PRコー ナーでの展示	相模原市に関す る情報や行政の 取組について、 関連資料を展示	件数 11件
		25周年記念 展示	「みる・シル・ こたえる相模 大野」	相模大野の変遷 が分かる地図や 統計資料、相模 大野クイズの壁 面展示	—
	「ブックツ リーに花を咲 かせよう！」		利用者に本や図 書館の思い出等 を用紙に書いて もらい壁面掲示	参加枚数 105枚	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	25周年記念展示		「ちいさいころすきだった本」	利用者に子どもの時に好きだった本を用紙に書いてもらい壁面に掲示
		ホームページによる情報発信	各事業紹介等を図書館ホームページで発信	件数 33 件
広報		らいぶらりーにゅーすの発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 3 回 ※77号は25周年記念号を発行
		チャイルズタイムスの発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 12 回
		ヤングアダルト ⁽²⁰⁾ 読書案内(YAD)の発行	中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 2 回
		広報さがみはらへの掲載	各事業案内等を広く知らせる	件数 19 件
内部評価	<p>地域情報や行政情報等の収集に努めるとともに、館内の特集コーナーにおいて、ポスターの掲出やパンフレット類の配布、関連する資料の展示等を行うなど、積極的な情報発信に努めた。また、「利用者の声」に寄せられた意見や提案による資料の収集やサービスの改善等を行い、利用者ニーズに応じた図書館サービスの充実に努めた。</p>			

⁽²⁰⁾ ヤングアダルト：中高生世代を指す言葉。「YA」と略されることが多い。

事業 2	子ども読書活動の推進と読書に親しむ機会の充実																															
事業内容	子どもの読書環境の整備・推進を図るとともに、子どもが読書に親しむための機会や事業の充実に努めます。																															
実施内容	<p>1. 対象：就学前の子どもから小学生まで</p> <table border="1" data-bbox="379 481 1372 1960"> <thead> <tr> <th data-bbox="387 481 598 560">事業項目</th> <th data-bbox="606 481 845 560">実施事業</th> <th data-bbox="853 481 1109 560">内容</th> <th data-bbox="1117 481 1364 560">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="387 571 598 963" rowspan="2">おはなし会 (定例)</td> <td data-bbox="606 571 845 739">おててつない でのおはなし 会(2~3歳児 向け)</td> <td data-bbox="853 571 1109 963" rowspan="2">絵本の読み聞か せや紙芝居、素 話</td> <td data-bbox="1117 571 1364 963" rowspan="2">参加者数 延べ828人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 750 845 963">このゆびとま れのおはなし 会(4~6歳児 向け)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="387 974 598 1164"></td> <td data-bbox="606 974 845 1164">サタデー おはなし会</td> <td data-bbox="853 974 1109 1164">おはなしを聞け る子どもを対象 とした絵本の読 み聞かせや紙芝 居</td> <td data-bbox="1117 974 1364 1164">参加者数 延べ599人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="387 1176 598 1948" rowspan="5">イベント (児童対象)</td> <td data-bbox="606 1176 845 1310">夏のこわ〜い おはなし会</td> <td data-bbox="853 1176 1109 1310">こわい素ばなし や紙芝居など</td> <td data-bbox="1117 1176 1364 1310">参加者数 31人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 1321 845 1456">冬の大きな おはなし会</td> <td data-bbox="853 1321 1109 1456">人形劇や影絵な ど</td> <td data-bbox="1117 1321 1364 1456">参加者数 98人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 1467 845 1601">春の大きな おはなし会</td> <td data-bbox="853 1467 1109 1601">人形劇やパネル シアターなど</td> <td data-bbox="1117 1467 1364 1601">参加者数 95人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 1612 845 1814">朝おは！</td> <td data-bbox="853 1612 1109 1814">開館と同時に始 めるおはなし会 1冊の物語の本 を数日間に分け て読み聞かせる</td> <td data-bbox="1117 1612 1364 1814">参加者数 延べ109人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="606 1825 845 1948">あつまれ！ なつのちびっこ おはなしかい</td> <td data-bbox="853 1825 1109 1948">幼児と保護者向 けの絵本や紙芝 居のおはなし会</td> <td data-bbox="1117 1825 1364 1948">参加者数 32人</td> </tr> </tbody> </table>			事業項目	実施事業	内容	結果	おはなし会 (定例)	おててつない でのおはなし 会(2~3歳児 向け)	絵本の読み聞か せや紙芝居、素 話	参加者数 延べ828人	このゆびとま れのおはなし 会(4~6歳児 向け)		サタデー おはなし会	おはなしを聞け る子どもを対象 とした絵本の読 み聞かせや紙芝 居	参加者数 延べ599人	イベント (児童対象)	夏のこわ〜い おはなし会	こわい素ばなし や紙芝居など	参加者数 31人	冬の大きな おはなし会	人形劇や影絵な ど	参加者数 98人	春の大きな おはなし会	人形劇やパネル シアターなど	参加者数 95人	朝おは！	開館と同時に始 めるおはなし会 1冊の物語の本 を数日間に分け て読み聞かせる	参加者数 延べ109人	あつまれ！ なつのちびっこ おはなしかい	幼児と保護者向 けの絵本や紙芝 居のおはなし会	参加者数 32人
事業項目	実施事業	内容	結果																													
おはなし会 (定例)	おててつない でのおはなし 会(2~3歳児 向け)	絵本の読み聞か せや紙芝居、素 話	参加者数 延べ828人																													
	このゆびとま れのおはなし 会(4~6歳児 向け)																															
	サタデー おはなし会	おはなしを聞け る子どもを対象 とした絵本の読 み聞かせや紙芝 居	参加者数 延べ599人																													
イベント (児童対象)	夏のこわ〜い おはなし会	こわい素ばなし や紙芝居など	参加者数 31人																													
	冬の大きな おはなし会	人形劇や影絵な ど	参加者数 98人																													
	春の大きな おはなし会	人形劇やパネル シアターなど	参加者数 95人																													
	朝おは！	開館と同時に始 めるおはなし会 1冊の物語の本 を数日間に分け て読み聞かせる	参加者数 延べ109人																													
	あつまれ！ なつのちびっこ おはなしかい	幼児と保護者向 けの絵本や紙芝 居のおはなし会	参加者数 32人																													

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	おはなし地球儀	外国の風俗、文化等の紹介や、日本語と外国語の両方による絵本の読み聞かせ (H26:フィリピン)	参加者数 13人
		ブックトーク 「めざせ! 生きものマスター!!」	生きものの観察ポイントの紹介と、職員による本の探し方・ブックトーク	参加者数 延べ47人
		一日図書館員	小学校4～6年生による実務体験と施設見学	参加者数 23人
		夏休み自由研究応援講座	小学校3～6年生対象の図書館資料を使用した調べ学習の入門講座	参加者数 46人
2. 学校・団体・ボランティアへの支援				
事業項目	実施事業	内容	結果	
学校等支援	施設見学の受入	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入	5校 延べ329名	
	職業体験の受入	窓口業務、書架整理、装備、資料検索などの図書館業務の体験	14校 延べ159人	
	所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育所、ボランティア等へ、一冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 29団体 利用団体数 12団体 貸出冊数 延べ2,072冊	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	ボランティアの育成・支援		相模女子大学 高等部生徒への 読み聞かせ 指導	高等部生徒による 幼稚部での読み聞 かせに際し、当館ボ ランティアが指導を 行う
読み聞かせ サークルのた めの勉強会			サークルの活動 事例発表会と情報 交換会、絵本に 関する講義	実施日数2日 参加者数 延べ83人
内部評価	<p>子ども読書活動の整備推進を図るため、定例のおはなし会や各種事業を実施したほか、博物館との共催で「めざせ!生きものマスター!」と題したブックトークを博物館と図書館それぞれの施設で開催した。また、図書館や南区の学校等で活動している読み聞かせサークルを対象に勉強会や活動事例発表会、情報交換会を実施した。</p>			

事業 3	市民の生涯学習支援のための事業の充実と活動の場の提供			
事業内容	市民が生涯にわたり学び続けることが出来るよう、各種事業の充実を図るとともに、活動や交流の場の提供に努める。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	結果	
	イベント (一般対象)	図書館活用講座	「こやま峰子氏講演会」	参加者数 18 人
			「郷土を知る～さがみはら今昔～」	参加者数 45 人
			「時代小説を聴く」	参加者数 54 人
			「知ってナットク！安心・安全な食生活」	参加者数 28 人
		大人のためのおはなし会「耳で楽しむ芥川龍之介」	芥川龍之介の作品の朗読	参加者数 44 人
		25 周年記念事業「大人のためのおはなし会 in グリーンホール」	朗読劇、紙芝居、ヴァイオリン・ミニコンサート及びロビー展示	参加者数 177 人
イベント (保護者とその子ども対象)	25 周年記念 森山京 おはなしサロン	児童文学作家の森山京氏の作品をテーマにした朗読やブックトーク、参加者によるブックリスト作成	参加者数 9 組 (子ども 15 人 大人 13 人)	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	学校等支援	施設見学の受入 [P56再掲]	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入	5校 延べ329人
		職業体験の受入 [P56再掲]	窓口業務、書架整理、装備、資料検索などの図書館業務の体験	14校 延べ159人
		所蔵資料の団体貸出 [P56再掲]	小・中学校や保育所、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 29団体 利用団体数 12団体 貸出冊数 延べ2,072冊
		学生インターンシップの受入	図書館業務実習	1人・8日間
		司書課程実習生の受入	図書館業務実習	1人・10日間
		高等学校教員社会体験研修の受入	図書館業務体験	2人・3日間
内部評価	<p>市民への図書館で学ぶ場の提供と図書館利用促進のため、「図書館活用講座」(全4回)を開催するとともに、グリーンホール相模大野開館25周年を記念して、市民文化財団との共催により、ボランティアの朗読や紙芝居による「大人のためのおはなし会」を多目的ホールで開催した。また、学校連携事業として、学生インターンシップの受入事業をきっかけに近隣大学図書館とのコラボレーション企画である「交換展示」を実施したほか、司書課程実習生、高等学校教員の実習、中学校の職業体験などを積極的に受け入れた。</p>			

【平成27年度の主な事業】

- 事業1 情報の収集・提供・発信によるサービスの充実
 事業2 各種講座等事業の充実とボランティアの育成・支援
 事業3 青少年の読書環境の整備および機会の提供

事業1	情報の収集・提供・発信によるサービスの充実			
事業内容	積極的な情報の収集・発信を行い、情報環境の整備・充実を図るとともに、利用者ニーズに応じたサービスの提供を図る。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	蔵書構築	資料の収集・提供	特色を生かした資料の収集や予約・リクエスト資料の提供	27年度所蔵点数 311,119冊(図書・AV資料計) 27年度購入冊数 8,646冊(図書・AV資料・雑誌計) 27年度貸出点数 590,442冊 予約・リクエスト提供状況件数 117,514件
	展示	特集コーナー及びミニ特集コーナーでの展示	各分類や時節ごとにテーマを決め、関連資料を展示	件数 24件 (分類特集 12件、テーマ特集 12件)
	連携展示	行政PRコーナーでの展示	相模原市に関する情報や行政の取組について、関連資料を展示	件数 16件
広報	ホームページによる情報発信	各事業紹介等を図書館ホームページで発信	件数 35件	
	SNSによる情報発信	各事業紹介等を図書館ツイッター及びフェイスブックで発信	件数 ツイッター : 153件 フェイスブック : 109件	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	広報	らいぶらりーにゅーすの発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 3回
		チャイルズタイムスの発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 12回
		ヤングアダルト読書案内(YAD)の発行	中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 2回
		広報さがみはらへの掲載	各事業案内等を広く知らせる	件数 15件
広聴	アンケートの実施	窓口サービスアンケートを実施し、館運営に活用	実施日数 延べ10日間 有効回答数 1,029件	
内部評価	<p>当館の特色を活かした図書資料の充実を図りながら、収集した資料の利用促進のため、特集コーナーにおいて関心を誘引する展示を行うとともに、行政PRコーナーにおいては各種啓発・普及事業の展示と関連する図書資料の紹介をすることで、積極的に読書環境を活かしたサービスの提供を行った。また、SNSを活用した情報発信によって、図書館に関する情報をより身近に、より迅速に提供できるようになったと同時に、様々な年齢層に情報を提供することが可能となった。加えて、図書館報や読書案内を定期的に発行し、紙媒体による情報発信も行った。来館者から収集した窓口アンケート実施結果は、利用者ニーズの把握とともに、図書館の利活用に資する資料として今後とも活用していきたい。</p>			

事業 2	各種講座等事業の充実とボランティアの育成・支援																												
事業内容	子どもの読書活動の推進をはじめ様々な年齢層の市民への生涯学習活動支援として各種事業の充実を図るとともに、それらの活動を担うボランティアの育成・支援を行う。																												
実施内容	<p>1. 対象：就学前の子どもから小学生まで</p> <table border="1" data-bbox="379 488 1385 1843"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 488 598 571">事業項目</th> <th data-bbox="598 488 849 571">実施事業</th> <th data-bbox="849 488 1115 571">内容</th> <th data-bbox="1115 488 1385 571">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 571 598 974" rowspan="2">おはなし会 (定例)</td> <td data-bbox="598 571 849 750">おててつないでのおはなし会 (2~3歳児向け)</td> <td data-bbox="849 571 1115 750" rowspan="2">絵本の読み聞かせや紙芝居、素話</td> <td data-bbox="1115 571 1385 974" rowspan="2">参加者数 延べ 641 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="598 750 849 974">このゆびとまれのおはなし会 (4~6歳児向け)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 974 598 1193"></td> <td data-bbox="598 974 849 1193">サタデーおはなし会</td> <td data-bbox="849 974 1115 1193">おはなしを聞ける子どもを対象とした絵本の読み聞かせや紙芝居</td> <td data-bbox="1115 974 1385 1193">参加者数 延べ 637 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1193 598 1339" rowspan="4">イベント (児童対象)</td> <td data-bbox="598 1193 849 1339">夏のこわ〜いおはなし会</td> <td data-bbox="849 1193 1115 1339">こわい素ばなしや紙芝居など</td> <td data-bbox="1115 1193 1385 1339">参加者数 59 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="598 1339 849 1485">冬の大きなおはなし会</td> <td data-bbox="849 1339 1115 1485">人形劇や影絵など</td> <td data-bbox="1115 1339 1385 1485">参加者数 115 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="598 1485 849 1630">春の大きなおはなし会</td> <td data-bbox="849 1485 1115 1630">人形劇やパネルシアターなど</td> <td data-bbox="1115 1485 1385 1630">参加者数 69 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="598 1630 849 1843">朝おは！</td> <td data-bbox="849 1630 1115 1843">開館と同時に始めるおはなし会 1冊の物語の本を数日間に分けて読み聞かせる</td> <td data-bbox="1115 1630 1385 1843">参加者数 延べ 96 人</td> </tr> </tbody> </table>			事業項目	実施事業	内容	結果	おはなし会 (定例)	おててつないでのおはなし会 (2~3歳児向け)	絵本の読み聞かせや紙芝居、素話	参加者数 延べ 641 人	このゆびとまれのおはなし会 (4~6歳児向け)		サタデーおはなし会	おはなしを聞ける子どもを対象とした絵本の読み聞かせや紙芝居	参加者数 延べ 637 人	イベント (児童対象)	夏のこわ〜いおはなし会	こわい素ばなしや紙芝居など	参加者数 59 人	冬の大きなおはなし会	人形劇や影絵など	参加者数 115 人	春の大きなおはなし会	人形劇やパネルシアターなど	参加者数 69 人	朝おは！	開館と同時に始めるおはなし会 1冊の物語の本を数日間に分けて読み聞かせる	参加者数 延べ 96 人
事業項目	実施事業	内容	結果																										
おはなし会 (定例)	おててつないでのおはなし会 (2~3歳児向け)	絵本の読み聞かせや紙芝居、素話	参加者数 延べ 641 人																										
	このゆびとまれのおはなし会 (4~6歳児向け)																												
	サタデーおはなし会	おはなしを聞ける子どもを対象とした絵本の読み聞かせや紙芝居	参加者数 延べ 637 人																										
イベント (児童対象)	夏のこわ〜いおはなし会	こわい素ばなしや紙芝居など	参加者数 59 人																										
	冬の大きなおはなし会	人形劇や影絵など	参加者数 115 人																										
	春の大きなおはなし会	人形劇やパネルシアターなど	参加者数 69 人																										
	朝おは！	開館と同時に始めるおはなし会 1冊の物語の本を数日間に分けて読み聞かせる	参加者数 延べ 96 人																										

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	あつまれ！ なつのちびっこ おはなしかい	幼児と保護者向 けの絵本や紙芝 居のおはなし会	参加者数 50 人
		おはなし地球 儀 「えいご D E カナダ！」	カナダの風俗、 文化等の紹介 や、日本語と英 語の両方による カナダの絵本の 読み聞かせ	参加者数 19 人
2. 対象：成人				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (一般対象)	図書館活用講 座	「気象の教室」	参加者数 48 人
			「これでスッキ リあなたの生 活」	参加者数 46 人
			「耳で楽しむ文 学」	参加者数 61 人
			「郷土を知る～ さがみはら今昔 ～」	参加者数 46 人
	大人のための おはなし会 2015 in グ リーンホール	人形浄瑠璃、紙 芝居、ヴァイオ リン・ミニコン サート及びロ ビー展示	参加者数 165 人	

実施内容	3. 団体・ボランティアへの支援			
	事業項目	実施事業	内容	結果
	学校支援	調べ学習・施設見学の受入	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入	【調べ学習】 4校・延べ58人 【施設見学】 3校 延べ217人
		所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 28団体 利用団体数 12団体 貸出冊数 延べ985冊
ボランティアの育成・支援	相模女子大学高等部生徒への読み聞かせ指導	高等部生徒による幼稚部での読み聞かせに際し、当館ボランティアが指導を行う	実施日数 延べ16日間 参加者数 生徒26人、 ボランティア6人	
	読み聞かせサークルのための勉強会	サークルの活動事例発表会と絵本に関する講義	参加者数 延べ60人	
内部評価	<p>多様な年代の利用者の関心に焦点を当てながら、利用者が知識・情報をより多く獲得できるような講座やイベントを実施した。特に、子どもの読書においては、夏休みや春休みを読書推進の好機と捉え、子どもたちが楽しんで参加できるイベントを開催することにより、図書館利用のきっかけづくりができた。また、子ども対象のおはなし会や大人のためのおはなし会は、ボランティア活動を継続している方々によって支えられており、図書館はそうした方々の活動の場であるとともに、読書推進の担い手に対する支援や育成の場として、役割を果たすことができた。</p>			

事業 3	青少年の読書環境の整備および機会の提供																					
事業内容	青少年の読書環境の整備・推進を図るとともに学校との連携を深めながら、青少年が交流を図り、読書や図書館に親しむための機会を提供する。																					
実施内容	<table border="1" data-bbox="379 450 1372 1368"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 450 598 528">事業項目</th> <th data-bbox="598 450 850 528">実施事業</th> <th data-bbox="850 450 1115 528">内容</th> <th data-bbox="1115 450 1372 528">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 528 598 1189" rowspan="3">Y A サービス</td> <td data-bbox="598 528 850 734">Y A 資料の充実</td> <td data-bbox="850 528 1115 734">中高生向けの図書資料の収集</td> <td data-bbox="1115 528 1372 734">27年度蔵書冊数 4,939冊 27年度貸出冊数 4,062冊</td> </tr> <tr> <td data-bbox="598 734 850 954">ヤングアダルト読書案内(YAD)の発行 [P61再掲]</td> <td data-bbox="850 734 1115 954">中高生向け読書案内の作成・配布</td> <td data-bbox="1115 734 1372 954">発行回数 2回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="598 954 850 1189">POP大賞の実施</td> <td data-bbox="850 954 1115 1189">近隣の学校連携による事業の実施により、POP大賞を決定</td> <td data-bbox="1115 954 1372 1189">[連携先] 相模原中等教育学校、桜美林大学 [展示] 8作品 [投票総数] 669票</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1189 598 1368">学校支援</td> <td data-bbox="598 1189 850 1368">職業体験の受入</td> <td data-bbox="850 1189 1115 1368">窓口業務、書架整理、装備、資料探索などの図書館業務の体験</td> <td data-bbox="1115 1189 1372 1368">14校・ 延べ69人</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	Y A サービス	Y A 資料の充実	中高生向けの図書資料の収集	27年度蔵書冊数 4,939冊 27年度貸出冊数 4,062冊	ヤングアダルト読書案内(YAD)の発行 [P61再掲]	中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 2回	POP大賞の実施	近隣の学校連携による事業の実施により、POP大賞を決定	[連携先] 相模原中等教育学校、桜美林大学 [展示] 8作品 [投票総数] 669票	学校支援	職業体験の受入	窓口業務、書架整理、装備、資料探索などの図書館業務の体験	14校・ 延べ69人
事業項目	実施事業	内容	結果																			
Y A サービス	Y A 資料の充実	中高生向けの図書資料の収集	27年度蔵書冊数 4,939冊 27年度貸出冊数 4,062冊																			
	ヤングアダルト読書案内(YAD)の発行 [P61再掲]	中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 2回																			
	POP大賞の実施	近隣の学校連携による事業の実施により、POP大賞を決定	[連携先] 相模原中等教育学校、桜美林大学 [展示] 8作品 [投票総数] 669票																			
学校支援	職業体験の受入	窓口業務、書架整理、装備、資料探索などの図書館業務の体験	14校・ 延べ69人																			
内部評価	<p>学齢が進むにつれて読書離れが課題となる世代に向け、将来、世代間の架け橋となって図書館活性化をけん引するという期待感から、青少年を対象とした図書資料の充実を図るとともに、青少年にとって楽しく、課題に役立つような読書案内を発行することで、読書活動の推進を図った。さらに、図書館をより身近に利用してもらうきっかけづくりとして近隣の学校と連携し、POP大賞を実施した。この事業では、図書委員生徒が大学生の指導を受けておすすめ本の紹介POPを作成し、連携3団体に巡回展示し利用者投票を行い、大賞を決定した。利用者から多くの投票があり関心を集めるとともに、学校連携をより深める機会となった。また、市内の中学校の職場体験を積極的に受入れ、図書館への親近感の創出、そして地域連携の役目を果たした。</p>																					

【平成28年度の主な事業】

- 事業1 地域や行政機関等と連携した読書普及に係る事業
 事業2 利用者の世代や特性に配慮した資料収集
 事業3 図書館利用促進のための環境整備

事業1	地域や行政機関等と連携した読書普及に係る事業			
事業内容	近隣の学校や関係各課・機関等と連携したイベントなどを開催し、図書館の利用促進や読書普及を図る。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	
	YAサービス	POP大賞の実施	近隣の学校連携による事業の実施により、POP大賞を決定	[連携先] 相模原中等教育学校、桜美林大学 [展示] 13作品 [投票総数] 607票
		ティーンズ☆フェス2016の実施	ブックカバー等の工作や本探しゲーム、怖い本がテーマのビブリオバトルなど	[連携先] 相模原中等教育学校、桜美林大学 [参加者数] 延べ51人
	学校(等)連携	調べ学習・施設見学の受入	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入	【調べ学習】 中学校1校・延べ2名 【施設見学】 小学校5校・延べ252名
職業体験の受入		窓口業務、書架整理、装備、資料探索などの図書館業務の体験	10校・延べ101人	
所蔵資料の団体貸出		小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 30団体 利用団体数 12団体 貸出冊数 延べ1,375冊	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	行政機関等連携事業	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを関連資料とともに展示	件数 16 件
		図書館活用講座	「心豊かなシニアライフを迎えるために」	参加者数 44 人
			「マネー教室 <入門編>」	参加者数 37 人
			「耳で楽しむ文学ー講談ー」	参加者数 49 人
			「相模原伝説探訪」	参加者数 47 人
相模原市民文化財団との共催事業	大人のためのおはなし会 2016 in グリーンホール	朗読、紙芝居、ヴァイオリン・ミニコンサート及びロビー展示	参加者数 178 人	
内部評価	<p>近年、近隣の学校連携に力を入れ取り組んできた成果を活かして、相模大野図書館を会場に中高生を対象としたイベントを開催した。POP大賞では、今年から新たに相模女子大学が加わり、例年を上回る13作品のPOPが完成した。ティーンズ☆フェス2016では、POP作品の会場展示のほか、ブックカバー等の工作やビブリオバトルをはじめとしたプログラムを学生自らが企画運営し、本を介した学生の表現活動や交流の場を実現するとともに、図書館や資料に親しむための機会を設けた。</p> <p>一般の利用者に対しては、情報発信コーナーにおいて行政各課等の啓発・普及事業の紹介と併せて関連資料の展示を行うことで、図書館の持つ多様な資料と、多くの市民が集う場の強みを活かした情報発信と読書普及を行った。</p> <p>また、市民の読書活動や生涯学習の推進を目的に、博物館等の専門機関から講師を招いて「図書館活用講座」を開催した。</p> <p>毎年恒例の大人のためのおはなし会では、相模原市民文化財団と共催し、併設の相模大野グリーンホールにて宮澤賢治をテーマとした朗読や紙芝居、ヴァイオリン・ミニコンサートを開催するとともに、ロビーで図書館報の展示を行い、図書館の利用促進を図った。</p>			

利用者 アンケート	<p>ティーンズ☆フェス2016の参加者アンケートによると、「おもしろかった」「このイベントを毎年の恒例行事にしてほしい」との好意的な意見が寄せられた。今後実施してほしい10代向けのイベントとして「受験生にニーズのある企画」や「ライトノベルを活用した企画」などが挙がっており、こうした10代の声をいかに取り入れ実現に結びつけていくかが今後の課題である。</p> <p>また、「事業に関するアンケート」で良いと思われる事業について伺った設問では、「特集コーナーでの本の展示」(19.6%)に次いで「図書館活用講座(講談～耳で楽しむ文学～)」(11.7%)、「大人のためのおはなし会」及び「相模大野図書館報『らいぶらりーにゅーす』の発行」(9.9%)の順に多く、関心の高さがうかがえた。自由意見では「事業は充実していると思う」「いつもおはなし会を楽しみにしています。これからも楽しいおはなし会をたくさんして下さい」という意見があった一方で、「事業についてあまり認識したことがない。もっとPRした方がよい」「社会人向けのイベント、参加したいのですがいつも人気で満席で参加できません。回数をふやしていただけるとうれしいです」との意見もあり、効果的な周知方法や開催頻度について検討が必要である。</p>
--------------	--

事業 2	利用者の世代や特性に配慮した資料収集																											
事業内容	子どもから高齢者まで幅広い世代のニーズや、障害者・外国人利用者等の特性を配慮し、多様な資料の充実を図る。																											
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 436 598 515">事業項目</th> <th data-bbox="603 436 845 515">実施事業</th> <th data-bbox="850 436 1114 515">内容</th> <th data-bbox="1118 436 1372 515">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 521 598 840" rowspan="2">大型絵本や紙芝居の充実</td> <td data-bbox="603 521 845 683">大型絵本の購入</td> <td data-bbox="850 521 1114 840" rowspan="2">大型絵本や紙芝居を購入</td> <td data-bbox="1118 521 1372 683">28年度購入点数 2点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 689 845 840">紙芝居の購入</td> <td data-bbox="1118 689 1372 840">28年度購入点数 61点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 846 598 1288" rowspan="3">大活字本の充実</td> <td data-bbox="603 846 845 985">大活字本の購入</td> <td data-bbox="850 846 1114 985">大活字本を収集・提供</td> <td data-bbox="1118 846 1372 985">28年度購入点数 74点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 992 845 1142">児童向け大活字本等の展示</td> <td data-bbox="850 992 1114 1142">秋の読書週間で児童書の大活字本・点字絵本・布絵本を展示</td> <td data-bbox="1118 992 1372 1142">展示冊数 35点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1149 845 1288">大活字資料コーナーでの展示</td> <td data-bbox="850 1149 1114 1288">大活字資料コーナー付近で新規購入した資料を展示</td> <td data-bbox="1118 1149 1372 1288">展示冊数 34点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1294 598 1444">外国語資料の充実</td> <td data-bbox="603 1294 845 1444">外国語資料の充実</td> <td data-bbox="850 1294 1114 1444">外国語で書かれた一般書及び児童書の外国語資料を購入</td> <td data-bbox="1118 1294 1372 1444">28年度購入点数 148点</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	大型絵本や紙芝居の充実	大型絵本の購入	大型絵本や紙芝居を購入	28年度購入点数 2点	紙芝居の購入	28年度購入点数 61点	大活字本の充実	大活字本の購入	大活字本を収集・提供	28年度購入点数 74点	児童向け大活字本等の展示	秋の読書週間で児童書の大活字本・点字絵本・布絵本を展示	展示冊数 35点	大活字資料コーナーでの展示	大活字資料コーナー付近で新規購入した資料を展示	展示冊数 34点	外国語資料の充実	外国語資料の充実	外国語で書かれた一般書及び児童書の外国語資料を購入	28年度購入点数 148点
事業項目	実施事業	内容	結果																									
大型絵本や紙芝居の充実	大型絵本の購入	大型絵本や紙芝居を購入	28年度購入点数 2点																									
	紙芝居の購入		28年度購入点数 61点																									
大活字本の充実	大活字本の購入	大活字本を収集・提供	28年度購入点数 74点																									
	児童向け大活字本等の展示	秋の読書週間で児童書の大活字本・点字絵本・布絵本を展示	展示冊数 35点																									
	大活字資料コーナーでの展示	大活字資料コーナー付近で新規購入した資料を展示	展示冊数 34点																									
外国語資料の充実	外国語資料の充実	外国語で書かれた一般書及び児童書の外国語資料を購入	28年度購入点数 148点																									
内部評価	<p>利用者の多様な課題や関心に応えるため、幅広い分野の資料収集を行うとともに、児童書の充実のため、比較的高価な大型絵本や紙芝居を積極的に購入した。</p> <p>また、外国人利用者や、障害者・高齢者の特性に配慮し、だれでも必要な資料にアクセスし情報を獲得できるよう、英語・中国語・ハンゲルで書かれた外国語資料や、文字が大きく読みやすい大活字資料等の充実を図った。併せて資料の周知と利用促進のため、秋の読書週間では児童フロアにて点字絵本や布絵本とともに大活字本の展示を行い、普段あまり手にとる機会のないこれらの資料の活用を図った。また、「障害者の日」にあわせて大活字資料コーナー付近にて大活字本の展示を行うとともに、図書館ソーシャルメディアを活用して周知を行い、情報提供に努めた。</p>																											

利用者 アンケート	<p>来館目的を伺う設問では、「本・雑誌・CD等を借りるため」(66.0%)、「本・雑誌・新聞を読むため」(16.2%)となり、あわせて8割を超える利用者の資料要求の高さが明らかとなった。自由意見では、新刊書や蔵書数の充実についての要望が多く集まった。また、「専門書」「自然科学系」「マンガ」など、各分野の資料の充実を求める具体的意見も寄せられ、これらの貴重な声を捉えて日々の選書等に確実に反映させていくことが重要である。</p> <p>事業項目に挙げた「外国語資料の充実」との関連では、洋書や多読用の本を希望する声や、「英語を始め、仏、独、中、ハンガルの子ども向け図書もあるので、それらの言語での読みきかせも行ってほしい」などの意見があった。こうした意見を受け、外国語資料の更なる充実や、所蔵資料を活用した事業等の展開について検討する余地がある。</p>
--------------	--

事業 3	図書館利用促進のための環境整備			
事業内容	図書館利用者の安全性や利便性の向上を図り、図書館利用を促進するため、図書館環境の整備に努める。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	利用者の安全性の向上	A E D の新設	利用者の救急救命に備えるため、3階フロアに新設	新設数 1 台
		防犯カメラの増設	利用者の安全確保や盗難防止のため、3階及び4階フロアに増設	増設数 4 台
	図書館までの案内方法の検討	デジタルサイネージ ⁽²¹⁾ の活用	デジタルサイネージに相模大野図書館の地図や道案内動画を掲出	掲出期間 28 年度(通年)
	南区合同庁舎 1 階の図書館専用掲示板による事業・イベントの周知	ポスターの掲出	図書館専用掲示板にイベント等のポスターを掲出	掲出期間 28 年度(通年)
内部評価	<p>利用者が安全な環境で安心して利用できるように、防犯カメラを3階及び4階の利用者フロアに4台増設するとともに、救急救命にいち早く対応できるよう A E D を新設する等、館内の環境整備を行った。</p> <p>また、以前に利用者から相模大野図書館の場所が分かりづらいという意見があったことを受け、相模大野駅から相模大野図書館までのスムーズな誘導のため、相模大野駅北口ペDESTリアンデッキのデジタルサイネージ「相模大野パブリックインフォメーション」を活用し、図書館までの地図や、相模女子大学司書課程と連携し、学生の提案と制作による道案内の動画を掲出し、来館者の利便性の向上を図った。</p> <p>さらに、南区合同庁舎 1 階に設置している図書館専用掲示板を</p>			

⁽²¹⁾ デジタルサイネージ: ディスプレイなどの電子機器を使って情報を発信するシステムのこと。

	<p>活用し、相模大野図書館で開催する各種事業やイベントのポスターを年間を通じて掲出することで、図書館未利用者を視野に入れた周知に力を入れた。</p>
利用者アンケート	<p>来館目的を伺う設問では、1位の「本・雑誌・CDを借りるため」に次いで、「本・雑誌・新聞を読むため」(16.2%)や「図書館の資料で調べものをするため」(7.5%)と、館内に滞在し利用することを目的に来館する利用者が比較的多く存在することから、快適な館内環境の充実に努める必要性が見出された。環境整備に関する自由意見では、「集会室の充実」や「テーブルとイスの増設」、「ドリンクコーナーやカフェの設置」など館内設備等の充実に求める声があった。また、館内の蔵書配置図の増設希望や、「低い所に置いてある本を探すとき苦勞する」といった具体的な意見があった。改善について検討し、できる部分から着手していきたい。</p>

(3) 橋本図書館

【平成26年度の主な事業】

- 事業1 各機関との連携事業
 事業2 ビジネス支援図書館事業
 事業3 子どもの読書及び生涯学習活動に係る事業

事業1	各機関との連携事業			
事業内容	図書館サービス向上と効率的・効果的な運営を図るとともに、管轄の公民館図書室、特に旧津久井地域の図書室との連絡調整を図る。また、積極的に図書館以外の諸機関・施設との連携を図り、図書館利用者の拡大に努める。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	公民館図書室との連絡調整	公民館等図書室職員業務研修	管轄公民館図書室の非常勤職員に、希望に応じて図書館業務研修を実施	研修実施回数 7回
	イベント (一般対象)	講演会「津久井の身近な昆虫たち」	市博物館学芸員による、津久井地域で観察できる昆虫について学ぶ講演会	参加者数 22人
		健康支援講演会	市管理栄養士による、「生活習慣病予防の食事」をテーマにした講演会	参加者数 25人
		読書週間特別企画 朗読会	プロの演者による朗読会	参加者数 36人
		こうばこの会の朗読会	目が不自由な方が中心となって結成された朗読劇団による朗読会	参加者数 22人
		歴史講演会「相模原歴史探訪 古代編」	市文化財保護課学芸員による、郷土の歴史を知り、郷土資料に親しむための講演	参加者数 19人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (一般対象)	防災特別講演会	市危機管理課職員による、地域の防災活動への参加の重要性や災害時の心得等を学ぶ講演会	参加者数 30 人
		和稽古その壱 風呂敷包みのお稽古	企業より講師を招き、風呂敷にまつわるお話や種々の包み方を学ぶ講座	参加者数 16 人
	イベント (児童対象)	しかけえほんをつくろう!	アートラボはしもとから講師の紹介を受け、会場も借用し、小学生対象のしかけえほんの工作を実施	参加者数 16 人
	連携展示	庁内情報発信	庁内情報発信や外部の機関と連携しての特集展示	件数 13 件
内部評価	<p>図書館サービスの更なる向上を念頭に置き、窓口業務等委託業者との連携を図ることにより、効率的・効果的な運営を行った。</p> <p>管轄の公民館等図書室と連絡調整を図るとともに、図書室職員への業務研修を実施し、サービスの向上に努めた。</p> <p>また、「アートラボはしもと」、「桜美林大学」等近隣の施設と連携した事業や展示を行い、利用者の拡大に努めた。</p>			

事業 2	ビジネス支援図書館事業			
事業内容	商業ビルに所在し、交通網の北の拠点としての地域特性を活かし、蔵書の構成や特色ある図書館サービスの拡充に努める。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	ビジネス支援サービス	ビジネス相談会	市産業振興財団との共催によるビジネス相談会で関連資料等を提供	開催回数 50 回 相談件数 167 件
		ビジネス支援コーナーの設置	ビジネスに関する資料等の収集・提供	ビジネス支援コーナーの蔵書数(書庫資料を含む一般書) 10,795 冊 雑誌タイトル数 12 誌
		ブックリストの発行	ビジネス及び就職支援に関するブックリストの発行	発行回数 8 回
		職業トレーニングの受入	さがみはら若者サポートステーションの職業トレーニングを受入	受入人数 7 人
		オンラインデータベース ⁽²²⁾ お試し講座	新聞記事検索、企業・法律情報などの 6 種類のデータベースを体験する講座	参加者数 3 人
内部評価	<p>ビジネス支援事業の一環として、(公財)相模原市産業振興財団との共催によりビジネス相談会を実施したほか、ビジネスや就職関連の資料収集・提供やブックリストの作成を行った。</p> <p>また、「さがみはら若者サポートステーション」からの依頼により、若者の就労支援のための職業トレーニングを積極的に受け入れた。</p>			

⁽²²⁾ オンラインデータベース：新聞記事、法令情報、企業情報等が検索できる商用データベース。

事業3	子どもの読書及び生涯学習活動に係る事業				
事業内容	子どもの読書活動や市民の生涯学習活動を支援する各種事業・活動の充実、推進を図るとともに、それらの活動を担うボランティアの育成・支援に努める。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
	おはなし会 (定例)		つくしちゃん のわらべうた (0、1歳児向け)	わらべうた、絵 本の読み聞かせ	参加者数 延べ876人
			たんぽぽおは なし会(2、3 歳児向け)	絵本の読み聞か せや紙芝居、素 話	参加者数 延べ842人
			すみれおはな し会(4~6歳 児向け)		
			土ようおはな し会	絵本の読み聞か せや紙芝居、お 話など	参加者数 延べ1,071人
	展示		こどもの本の コーナーでの 特集展示	季節ごとにテー マを決め、関連 資料を展示	件数4回
			キッズフェス タ展示「ふれて みよう!いき ものの本」	キッズフェスタ 講演会講師松橋 利光氏の著作や 類似テーマの自 然科学系の図書 の展示	件数1回
	イベント (児童対象)		夏のおはなし 大会	ストーリーテリ ングを6話	参加者数 延べ24人
			冬の大きなお はなし会	人形劇、手遊び うたや影絵など	参加者数 延べ257人
			春の大きなお はなし会	人形劇、手遊び うたや影絵など	参加者数 延べ228人
			こどもの日企 画「ようこそほ んの森へ!」	おはなしパズ ル、ボランティア による個別読 み聞かせ、昔遊 びなどで子ども たちに遊んでも らう	参加者数145人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	夏休み特別企画ブックトーク	「いただきまーす!～食べものから広がる世界」をテーマに本を紹介する	参加者数 12人
		夏休み特別企画工作	小学1、2年生と保護者を対象に、アルバム絵本を作成	参加者数 9組
		1日図書館員	小学3～6年生を対象に、本の貸出・返却等の図書館業務を体験してもらう	参加者数 延べ24人
		ガイドツアー 図書館たんけん隊	親子を対象に図書館の使い方の説明や、普段見られない場所の見学を行う	実施回数 3回 参加者数 延べ32人
		調べ学習体験講座「調べるっておもしろい」	「図書館と市民をつなぐ会」主催の、図書館資料とインターネット検索を用いた調べ学習体験講座	参加者数 15人
		秋の読書週間 「どくしょの木」	子どもの本のコーナーで、「わたしの好きなお本」を書いてどくしょの木に貼り、おすすめ本を紹介してもらう	参加者数 37人
		しかけえほんをつくろう! [P74再掲]	アトラボはしもとから講師の紹介を受け、会場も借用し、小学生対象のしかけえほんの工作を実施	参加者数 16人
	ブックリストの発行	「ほんのもり」の発行	児童向けの読書案内誌	発行回数 6回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	ブックリストの発行		「発見さがみはら」の発行	児童向けに相模原の歴史や文化などを紹介した「さがみはらミニガイド」
学校支援		調べ学習・施設見学の受入	市内の小・中学校が行う、調べ学習やまちたんけん等の受入	【調べ学習】 4校・延べ20人 【施設見学】 11校・ 延べ243人
		職業体験・職業ボランティアの受入	窓口業務、配架、書架整理、装備、資料探索などの図書館業務の体験	【職業体験】 延べ校数 12校 延べ人数 85人 【職業ボランティア】 校数 1校 延べ75人
		出向サービス	学校の依頼により、直接訪問しておはなし会とブックトークを実施	件数 1回
YA ⁽²³⁾ サービス		YA大賞	中高生世代からオリジナルの短編小説を募集し、大賞・審査員賞を選考し表彰を行う	応募作品数 8件
		「Youthful Days」及び「YD Petit」の発行	YA世代のボランティアとともに作る、中高生世代のためのライブラリーマガジン	発行回数 8回
		「YAライブラリー」の発行	YAコーナーの新作資料紹介誌	発行回数 4回

⁽²³⁾ YA：橋本図書館では「Youthful Age」の略称として用いている。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	Y A サービス	Y A コーナーでの特集展示	Y A コーナーでの特集展示	件数 5 回
イベント (一般向け)	ビブリオバトル	テーマを設定し、参加者がおすすめ本の書評合戦を行う	実施回数 2 回 参加者数 26 人	
	読書会	参加者間で文学作品の読み合わせを行い、感想等を語り合っ て参加者間での交流を図る	実施回数 6 回 参加者数 延べ 58 人	
	大人のためのおはなし会	15 歳以上の方を対象に、おはなしを語る	参加者数 30 人	
	講演会「津久井の身近な昆虫たち」 [P73 再掲]	市博物館学芸員による、津久井地域で観察できる昆虫について学ぶ講演会	参加者数 22 人	
	健康支援講演会 [P73 再掲]	市管理栄養士による、「生活習慣病予防の食事」をテーマにした講演会	参加者数 25 人	
	読書週間特別企画朗読会 [P73 再掲]	プロの演者による朗読会	参加者数 36 人	
	こうばこの会の朗読会 [P73 再掲]	目が不自由な方が中心となって結成された朗読劇団による朗読会	参加者数 22 人	
	歴史講演会「相模原歴史探訪古代編」 [P73 再掲]	市文化財保護課学芸員による、郷土の歴史を知り、郷土資料に親しむための講演	参加者数 19 人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (一般向け)		防災特別講演会 [P74 再掲]	市危機管理課職員による、地域の防災活動への参加の重要性や災害時の心得等を学ぶ講演会
		和稽古その壱 風呂敷包みの お稽古 [P74 再掲]	企業より講師を招き、風呂敷にまつわるお話や種々の包み方を学ぶ講座	参加者数 16 人
		パソコン講習会	相模原市情報ボランティアを講師とした、パソコン初心者向け講習会	参加者数 延べ 178 人
ボランティアの育成・支援		ボランティア交流会	市内で読み聞かせをボランティアとして活動中の方たち同士の交流と情報交換会	実施回数 2 回 参加者数 述べ 36 人
		ボランティアステップアップ講座	橋本図書館で活動しているボランティアグループを対象に、技術向上を目指す講座	参加者数 延べ 46 人
内部評価	<p>子どもの読書活動の支援として、定例のおはなし会、工作会及びブックトークを実施したほか、中高生向けYA（ヤングアダルト）サービスとして、ブックリストの作成、機関紙の発行、短編小説や詩の募集、表彰、発表を行った。</p> <p>また、市民の生涯学習活動の支援として、講演会、読書会、ビブリオバトル及び大人のためのおはなし会等の事業を実施した。</p> <p>さらには、地域や図書館で読み聞かせのボランティア活動を行っている方を対象に、交流会やステップアップのための講座を実施し、情報交換や交流の場を設けるとともに活動の支援を行った。</p>			

【平成27年度の主な事業】

- 事業1 図書館サービスの更なる向上と生涯学習の場の提供
 事業2 地域特性を生かした図書館サービスの提供
 事業3 新しい読書の形の提案

事業1	図書館サービスの更なる向上と生涯学習の場の提供			
事業内容	図書館サービスの更なる向上を図るとともに、図書館以外の諸機関・施設とも積極的に連携を図り、市民が図書館を通して様々な知に触れ、生涯学習を続けるきっかけとなるような場の提供に努める。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (一般対象)	副音声付映画鑑賞会「博士の愛した数式」	企業の協力による、字幕や音声ガイド付きのバリアフリー映画の上映会	参加者数 18人
		こうぼこの会の朗読会	目の不自由な方が中心となって結成された朗読劇団による朗読会	参加者数 22人
		健康支援講演会「心の健康づくり」	ストレスとの上手なつきあい方を学ぶ、市保健師による講演会	参加者数 26人
		相模原歴史探訪講演会「長竹の自然と野の仏たち」	『長竹今昔物語』を編集された奈良雅之氏による、長竹の自然等をテーマとした講演	参加者数 21人
		相模原歴史探訪～橋本歴史散歩編～	橋本の歴史を知る会に解説をしてもらいながら橋本の文化財を巡る	参加者数 24人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (一般対象)		インナーガーデン ⁽²⁴⁾ 「銀河鉄道の夜をめぐる」	アートラボはしもと、桜美林大学と共催し、ミウイ橋本のインナーガーデンで演劇・工作を実施
		インナーガーデンおはなし会	プロの演者によるエブロンシアター、大型絵本、朗読	参加者数 70人
		和稽古その参ちぎり絵の年賀状づくり	外部講師による、和紙を使って「私製はがき」に貼ってつくるオリジナル年賀状づくりの講座	参加者数 15人
		パソコン初心者講習会	相模原市情報ボランティアを講師とした、パソコン初心者向け講習会	参加者数 延べ 176人
イベント (児童対象)		夏休み企画「親子で学ぼう江戸しぐさ」	外部講師による、江戸しぐさに関する講演会	参加者数 11人
		夏休み特別企画工作「コラージュ ⁽²⁵⁾ で描こう橋本のまち」	アートラボはしもとの協力を受け、橋本地区の写真を中心にコラージュ作品とダンボール額を作成する工作会	参加者数 4組

⁽²⁴⁾ インナーガーデン：ミウイ橋本5階の飲食店フロアにあり、ミウイ来館者が休憩をしたり、各テナントが関連イベントを開催したりするためのスペース。

⁽²⁵⁾ コラージュ：写真などの様々な素材を組み合わせて作品を構成する技法。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	連携展示	橋本まちゼミ ⁽²⁶⁾ 応援展示	橋本駅周辺商店街連合会主催の橋本まちゼミに協力し、講座テーマに関する資料を展示	件数 2 件
		銀河鉄道の夜をめぐる	アートラボはしもと、桜美林大学との共催企画に関連する展示	件数 1 件
		庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 9 件
内部評価	<p>それぞれの分野での専門職の知識や外部機関の専門性を活かした連携事業等を積極的に実施した。ミウイ橋本5階の開放的なイベントスペースであるインナーガーデンを活用した事業は初めての試みだったが、2日間で約300人もの参加があった。図書館外の誰でも滞在できるスペースを活用することで、図書館に来館していない方への事業の周知にもつながった。</p> <p>また、橋本地区の文化財を巡る歴史散歩では、図書館で収集する地域資料の提供にとどまらず、実際に文化財に触れる機会を提供することで、図書館を通じて地域を知る新たなきっかけづくりができた。</p> <p>今後も様々な機関と連携しながら、市民が様々な知に触れ生涯学習を継続するきっかけとなるような場の提供に努めたい。</p>			

⁽²⁶⁾ 橋本まちゼミ：橋本駅周辺の店舗等が講師となって専門知識を教える、少人数制のミニ講座。

事業 2	地域特性を生かした図書館サービスの提供			
事業内容	緑豊かな水源地域、産業・商業の集積地、交通の要衝といった緑区の地域特性を考慮し、市民の課題解決を支援できる蔵書構築と図書館サービスの提供に努める。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	
	蔵書構築	資料の収集・提供	特色を生かした資料の収集・提供	27年度所蔵点数 330,177冊(図書・AV資料計)
				27年度購入点数 8,622冊(図書・AV資料・雑誌計)
				27年度貸出点数 695,611冊
	ビジネス支援サービス	創業・起業ビジネス相談会	市産業振興財団との共催によるビジネス相談会で関連資料等を提供	開催回数 48回 相談件数 164件
オンラインデータベースの提供				オンラインデータベースを調査用に提供
ビジネス支援コーナーの設置		ビジネスに関する資料等の収集・提供	ビジネス支援コーナーの蔵書数(書庫資料を含む一般書) 10,892冊	
			雑誌タイトル数 14誌	
			ブックリストの発行	ビジネス及び就職支援に関するブックリストの発行
橋本まちゼミ支援事業	橋本まちゼミに協力し、講座に関連するブックリストの提供と図書館内での関連展示	件数 2回 ブックリスト発行回数 58回		

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	情報提供サービス		レファレンスサービス	調べものの支援
		インターネット閲覧サービス	インターネットによる調べものができる環境の提供	インターネット利用件数 13,161件
		国立国会図書館レファレンス協同データベースへの事例登録	国立国会図書館のデータベースに、調べもの事例を登録・公開	27年事例登録件数 57件 27年被参照件数 335,077回
		大学図書館との相互協力	大学図書館と連携し、調べものの相談や資料調査を行う	受付件数 5件
		検索案内コンシェルジュ	検索機の使い方などの問合せに個別に対応し、ご案内する	実施回数 7回 参加者数 延べ 135人
課題解決のためのブックリストの発行		ビジネス及び就職支援に関するブックリストの発行 [P84再掲]	ビジネス及び就職支援をテーマとしたブックリストの作成・配布	発行回数 8回
		子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」の発行	子育て支援をテーマとしたブックリストの作成・配布	発行回数 4回
		健康情報サービスブックスト「健康情報news」の発行	医療健康情報をテーマとしたブックリストの作成・配布	発行回数 4回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	課題解決のためのブックリストの発行	「調べる本の紹介」および「調べる本の紹介ジュニア版」の発行	テーマ別の参考図書のご案内の作成・配布	発行回数 6回
		「発見！！さがみはら」の発行	児童向けに相模原の歴史や文化などを紹介したミニガイドの作成・配布	発行回数 6回
内部評価	<p>市民の課題解決を図る図書館資料の収集として、ビジネス支援、子育て支援、健康情報等テーマ別資料の収集を継続的に行った。また、ビジネス等の各テーマに関するブックリストを定期的に作成・更新し、資料の活用や調べものへの活用を図った。</p> <p>情報提供サービスでは、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベースに当館で受けた調べものの事例を継続的に登録し、インターネット上で公開している。今年度は当館事例への参照件数が一定数を超え、国立国会図書館から表彰を受けることができた。</p> <p>新しい取組として、検索案内コンシェルジュと、橋本まちゼミ支援事業を実施した。今後もビジネス支援等の特徴的なサービスを生かし、地域の課題を視野に入れた図書館資料とサービスの提供に努めたい。</p>			

事業 3	新しい読書の形の提案			
事業内容	子どもの読書活動や、子どもの読書に関わる人々の活動を支援する事業の推進に努めるとともに、子どもだけではなく、大人への読み聞かせなど、幅広い層に新しい読書の形を提案する。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	おはなし会 (定例)	つくしちゃん のわらべうた (0、1歳児向け)	わらべうた、絵 本の読み聞かせ	参加者数 延べ847人
		たんぽぽおは なし会(2、3 歳児向け) すみれおはな し会(4~6歳 児向け)	絵本の読み聞か せや紙芝居、素 話	参加者数 延べ882人
		土ようおはな し会	絵本の読み聞か せや紙芝居、お 話など	参加者数 延べ1,001人
	展示	こどもの本の コーナーでの 特集展示	季節ごとにテー マを決め、関連 資料を展示	件数 5回
		キッズフェス タ独自企画展 示-「生物多様 性の本箱」	「みんなが生き ものをつなが る」をテーマに、 自然科学系の児 童書に親しんで もらう展示	件数 1回
	イベント (児童対象)	夏のおはなし 大会	ストーリーテリ ングを6話	参加者数 29人
		冬の大きなお はなし会	人形劇、手遊び うたや影絵など	参加者数 延べ212人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	イベント (児童対象)		春の大きなおはなし会	人形劇、手遊びうたや大型紙芝居など	参加者数 延べ 244 人
			こどもの日特別企画「こどもまつりーようこそ、ほんの森へー」	おはなしパズル、おはなし会、ボランティアによる個別読み聞かせ、昔遊びなどでこどもたちに遊んでもらう	参加者数 延べ 241 人
			読書週間「どくしょの木」	子どもの本のコーナーで、「わたしの好きな本」を書いてどくしょの木に貼り、おすすめ本を紹介してもらう	実施日数 28 日間
			夏休み特別企画 ブックトーク	テーマ「どこいく？なにをする？なつやすみ！」に沿ったさまざまな分野の本を紹介する	参加者数 8 人
			夏休み特別企画 画工作「カラージュで描こう 橋本のまち」 [P82 再掲]	アートラボはしもとの協力を受け、橋本地区の写真を中心にカラージュ作品とダンボール額を作成する工作会	参加者数 4 組
			ガイドツアー 図書館たんけん隊	書庫や図書整理室の様子など、図書館の裏側を見学してもらう 図書館ツアー	実施回数 3 回 参加者数 延べ 26 人
			1 日図書館員	小学 3～6 年生を対象に、本の貸出・返却等の図書館業務を体験してもらう	参加者数 延べ 24 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	イベント (児童対象)	調べ学習体験 講座「調べるって おもしろい」	図書館と市民を つなぐ会主催の インターネット 検索と資料を用 いた調べ学習体 験	参加者数 8人
ブックリス トの発行	「ほんのもり」 の発行	児童向けの読書 案内紙	発行回数 6回	
	「発見！！さ がみはら」の発 行 [P86再掲]	児童向けに相模 原の歴史や文化 などを紹介した さがみはらミニ ガイド	発行回数 6回	
	「調べる本の 紹介ジュニア 版」の発行 [P86再掲]	テーマ別の調べ 方や調べる本の 案内紙	発行回数 2回	
学校支援	調べ学習・施設 見学の受入	市内の小・中学 校が行う、調べ 学習やまちたん けん等の受入	【調べ学習】 1校・延べ11人 【施設見学】 11校・延べ162 人	
	職業体験・職業 ボランティア の受入	窓口業務、配架、 書架整理、装備、 資料探索などの 図書館業務の体 験	【職業体験】 延べ校数 13 延べ人数 190 人	
	出向サービス	学校の依頼によ り、直接訪問し ておはなし会と ブックトークを 実施	件数 1回	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	Y A サービス	Y A 大賞		中高生世代からオリジナルの短編小説と詩を募集し、大賞・審査員賞を選考し表彰を行う	応募作品数 小説 6 件 詩 7 件
			「Y o u t h f u l D a y s」及び「Y D p e t i t」の発行	Y A 世代のボランティアとともに作る、Y A 世代のためのライブラリーマガジン	発行回数 8 回
			「Y A ライブラリー」の発行	Y A コーナーの新作資料紹介誌	発行回数 4 回
			Y A コーナー等での特集展示	Y A コーナーや、Y A をテーマとした特集展示	件数 8 回
ボランティアの育成・支援	ボランティア交流会		市内で読み聞かせをボランティアとして活動中の方たち同士の交流と情報交換会	参加者数 15 人	
			橋本図書館で活動しているボランティアグループ所属の方を対象に、技術向上を目指す講座	参加者数 延べ 34 人	
イベント (一般対象)	読書会		参加者間で文学作品の読み合わせを行い、感想等を語り合っ て参加者間での交流を図る	実施回数 6 回 参加者数 延べ 71 人	
			中学生以上の方を対象に、おはなしを語る	参加者数 26 人	

内部評価	<p>各世代を意識した読書活動支援の取組を実施した。子どもへのサービスは、おはなし会を継続的に実施したほか、夏休みや冬休み、読書週間等に読書機会を拡げるための事業を実施した。また、読み聞かせボランティアとして子どもの読書に関わる方へ向けた支援のために、交流会やステップアップ講座を実施した。</p> <p>中高生世代へのサービスは「Y o u t h f u l D a y s」の発行やYA大賞など、中高生世代の参加型の事業により、中高生世代が来館するきっかけづくりや、交流の場を提供している。</p> <p>一般対象の事業として、読書会と大人のためのおはなし会を実施した。読書会は取り上げる本の傾向を変えながら幅広い読書機会の提供に努めており、毎回ほぼ定員に達している。</p> <p>今後もより幅広い世代に向けた読書の楽しみを提案し、継続的に図書館の利用を促進したい。</p>
------	---

【平成28年度の主な事業】

- 事業1 読書活動の普及に係る事業
 事業2 図書館資料の充実に係る事業
 事業3 図書館運営と図書館施設等の管理に係る事業

事業1	読書活動の普及に係る事業			
事業内容	講演会や読書会、展示等の事業を通じて、利用者の方々に様々な情報や知識に触れる場を提供し、それを機会として読書への関心を高め、図書館資料の利用促進を図る。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	開館15周年記念事業	プレイベント「朗読会」	没後100年にあたる夏目漱石作品等を朗読	参加者数 29人
		秋元紀子・赤星稔語り & ピアノコンサート	語りと、ピアノ演奏のコンサート 相模原市民文化財団との共催	参加者数 延べ 293人
		関連展示	15周年に関連した展示	展示回数 2回
		15周年記念しおりの配布	緑区のマスコット「ミウル」のイラストを使用したしおりの作成・配布	配布枚数 1,000枚
	企画展示による情報発信事業	企画展示	読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施	展示回数 74回
		随時展示	活字文化に深く関わりのある方の訃報に合わせた展示	展示回数 7回
		特別展示	女子美術大学卒業生加藤千晶氏による作品の展示	展示回数 4回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	図書館以外の機関等との連携事業		庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 6 件
			橋本まちゼミ 応援展示	橋本駅周辺商店街連合会主催の橋本まちゼミに協力し、講座テーマに関する資料を展示	展示回数 1 回
			発達障害の理解と支援	市発達障害支援センター所長と障害当事者を講師に招き、具体的支援を学ぶ	参加者数 26 人
			相模原歴史探訪	橋本の歴史を知る会会員を講師に招き、橋本駅周辺にある文化財を学ぶ	参加者数 延べ 36 人
			共同企画展示	夏目漱石没後100年にちなみ、夏目漱石の小説の帯を募集立川市立図書館と近隣高等学校、鎌倉市立図書館と近隣高等学校、橋本図書館とYD編集委員による共同企画展示	展示回数 1 回
			妖怪たちの夏祭り	妖怪をテーマとした工作とパフォーマンスの実施 アートラボはしもと、桜美林大学との共催企画	来場者数 延べ 833 人 おはなし会 74 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館以外の機関等との連携事業	親子おこづかい教室	金融広報アドバイザーを講師に招き、お金の大切さと使い方を考える	参加者数 19人
		調べ学習体験講座	小・中学生を対象に図書館資料とインターネットを使った調べ学習を実施 図書館と市民をつなぐ会・相模原と共催	参加者数 16人
内部評価	<p>平成28年度は開館15周年という大きな節目の年度になるため、この節目にちなんだ展示やイベントを積極的に実施し、改めて読書への関心を高めるとともに、図書館資料の利用促進に努めた。中でも、相模原市民文化財団との共催により開催した「語り&ピアノコンサート」は、2日間で約300人もの参加があった。共催で行うことにより、普段図書館に来館しない人たちに向けての周知につながった。</p> <p>また、企画展示では、各担当が時期に合わせたテーマを設定し、所蔵資料を紹介した。中には書庫で保管をしている本も展示するなど、橋本図書館が所蔵する図書や視聴覚資料を活かした展示を行うことで、来館者へ情報や知識に触れる場を提供することができた。</p> <p>さらに、今年度は、特別展示として女子美術大学卒業生の作品を館内に展示した。これにより、美術作品を通じて図書館に関心を持ってもらうことができた。</p> <p>今年度連携をした各機関と今後も連携を深めながら、市民が幅広い知識に出会う場を提供できるように努めたい。</p>			

利用者 アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の実施結果では、開館15周年記念「語り&ピアノコンサート」は、回答者の13.2%が良い事業に選んだ。参加者については、60代が多く、次いで40代が多かった。また、図書館を頻繁に利用する方だけではなく、半年に数回の利用者にも当該事業への関心は高かった。</p> <p>企画展示では、40代で、毎週・2週間おき・月に数回の利用頻度の来館者の関心が高かった。また、30代・40代からの回答者から「おすすめの本を定期的に展示してくれると読書の幅が広がる」「入口付近の展示や情報案内は楽しみに見えています。」といった意見が寄せられた。</p> <p>今後は、これらの関心を図書館利用に繋げていく工夫が必要である。</p>
--------------	---

事業 2	図書館資料の充実に係る事業			
事業内容	利用者の方々が求める幅広い情報要求に応えるため、橋本図書館や管轄公民館図書室の蔵書構成を把握し、不足している分野や更新が必要な分野等について、重点的に蔵書の充実を図る。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	テーマ別資料コーナーの充実	図書資料の収集・提供	テーマ別資料コーナーにおける各テーマの資料収集・提供	28年度蔵書冊数 高齢者資料 895冊 子育て支援資料 2,973冊 ビジネス資料 11,00冊 コンピュータ・情報・通信資料 1,796冊 園芸資料 1,827冊 健康資料 6,470冊 児童文学資料 2,062冊 家政学・生活科学資料 7,508冊 音楽・演劇資料 6,540冊 ペット資料 1,141冊 資格・仕事資料 839冊 冠婚葬祭・スピーチ・手紙資料 956冊 年金・保険・税金資料 859冊 旅行ガイド資料 3,798冊

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	大活字本等の充実	大活字本の充実	大活字資料を収集・提供	28年度所蔵点数 1,371冊
		障害者用視聴覚資料の充実	カセット(録音図書)及び朗読CDを収集・提供	28年度所蔵点数 カセット 1,545点 朗読CD 480点 28年度購入点数 朗読CD 19点
蔵書情報の積極的な発信	ブックリストの発行	分野ごとに発行している8種類のブックリストの発行及び改定 (種類) ・YAライブラリー ・こどもしんぶん「ほんのもり」 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 ・調べる本の紹介 ・調べる本のしょうかいジュニア版 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報news」	発行回数 6回 (ほんのもり) 発行回数 4回 (YAライブラリー/スマイルレター/お役立ちブックリスト/就職情報の探し方&ブックリスト/健康情報news) 発行回数 3回 (調べる本の紹介) 発行回数 1回 (調べる本のしょうかいジュニア版)	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	蔵書情報の積極的な発信	ソーシャルメディアの活用	Faceboook及びTwitterを活用した情報発信	発信回数 6回
内部評価	<p>利用者が求める情報要求に応えるために、ビジネス支援、子育て支援の資料のほかに、日常生活において身近なテーマであるペットや家政学・生活科学関係資料なども継続的に充実を図った。また、ビジネス支援をはじめとしたブックリストは、昨年度に引き続き定期的な作成・更新を行い、所蔵資料の活用を図った。</p> <p>大活字本等の充実では、障害者差別解消法の施行を踏まえ、大活字本及び朗読CDの充実を図った。</p> <p>一方で、Facebook及びTwitterを活用した情報発信は、年間を通じて6回の発信にとどまった。ソーシャルメディアは、書誌情報へのリンクを貼ることで、資料予約に繋げる可能性があることから、積極的な蔵書情報の発信の手段の1つとして活用したい。</p>			
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、図書の充実も含めて力を入れて取り組んでほしい事業のうち、実用書や専門書の充実を含む「社会人を対象とした事業」が全体の22.3%、衣食住関係資料の充実を含む「子育て世代を対象とした事業」が全体の11.2%と、共に10%を超える関心があった。</p> <p>一方、定期的に発行しているブックリストに対する関心は、取り組んでいる事業のうち5.6%にとどまった。</p> <p>情報発信については、「図書館の取り組みについて知らない」といった、周知が行き届いてない意見が寄せられた。</p> <p>充実させた資料を利用に繋げるためには、どのように蔵書情報の発信を行うかが課題である。</p>			

事業3	図書館運営と図書館施設等の管理に係る事業				
事業内容	窓口業務等委託による効率的な運営を行う。また、利用者の利便性が低下しないよう、施設維持管理を行いながら、より快適に図書館を利用できるように努める。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
	窓口業務等委託の検証		あなたの「声」	利用者から主に図書館サービス等について意見をいただく	件数 61 件
			市民の声	市ホームページから図書館に係る内容について意見をいただく	件数 23 件
	計画的な施設修繕		ソファ等入れ替え	汚破損が著しい新聞・雑誌コーナーのソファ等を、特定防衛施設周辺整備調整交付金 ⁽²⁷⁾ を活用し更新	ロビーソファ 18 台 デスクアンダーワゴン 4 台 新聞架 5 台 アルミ製車いす 2 台
			トイレ便座修繕	こどものほんのコーナーにあるトイレに子ども用便座を設置	男児用トイレ 1 基 女児用トイレ 1 基
			自動ドア装置取り替え修繕	経年劣化により傷んだ正面入り口の自動ドアの装置を交換	—

⁽²⁷⁾ 特定防衛施設周辺整備調整交付金：米軍基地の影響を受ける市町村が実施する公共施設の整備や事業に対して、国が助成するもの。

内部評価	<p>窓口業務等委託による効率的な運営については、委託事業者による企画展示を81回、橋本図書館手作りサロンを11回、読書会を8回実施した。</p> <p>イベントによっては、スタッフ自らが講師として実施し、参加人数もほぼ毎回定員に達していた。</p> <p>新聞・雑誌コーナーのソファ等は、開館後15年が経過したことにより、汚破損が目立ってきたため、利用者が快適に図書館を利用できるように、配置も含めリニューアルを行った。これにより、フロアスペース及び通路幅がより効率的に確保され、合理的配慮への対応及び利便性が向上した。</p> <p>今後も利用者の声が直接聞くことができる「あなたの「声」」や「市民の声」により、図書館サービス全般について寄せられる意見を参考にしながら、より快適に図書館を利用できるように努めたい。</p>
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」では、窓口業務等委託事業者に対する意見として、利用者対応について「スタッフのみな様の対応が親切です。ありがとうございます。」といった好意的な意見が寄せられた。また、読書会は回答者の12.9%の方が関心を示し、年代別では40代の来館者の関心が非常に高かった。一方、手作りサロンについては、回答者の7.2%の方の関心に留まったが、年代別では読書会と同様に40代の来館者の関心が高い事業であった。</p> <p>「事業に関するアンケート」の結果では、回答者の15.4%の方が本・雑誌・新聞を読むことを目的に来館しており、読書席の充実を求める意見が寄せられた。</p> <p>より快適な図書館運営を目指すためには、窓口業務等委託における効果の継続的な検証と、適切な施設維持管理を行う必要がある。</p>

(4) アンケート実施結果

ア 実施期間

平成29年3月14日(火)から3月26日(日)までの開館日

イ 実施方法

市立・相模大野・橋本の各館窓口を訪れた利用者(概ね小学校高学年以上)に対しアンケート用紙を直接手渡したほか、記載台等にアンケート用紙を設置し、館内の回収箱で回収した。

ウ 有効回答数 2,273件(3館合計)

エ 設問及び集計結果

○回答者について

<年齢>

年齢	市立	相模大野	橋本	3館合計
10歳代	34	33	67	134
20歳代	22	41	61	124
30歳代	69	89	166	324
40歳代	138	125	215	478
50歳代	112	74	108	294
60歳代	143	106	159	408
70歳以上	116	100	104	320
無回答	70	49	72	191
合計	704	617	952	2,273

<性別>

性別	市立	相模大野	橋本	3館合計
男性	273	220	341	834
女性	342	317	495	1,154
無回答	89	80	116	285
合計	704	617	952	2,273

<お住まい>

お住まい	市立	相模大野	橋本	3館合計
緑区	15	2	479	496
中央区	519	10	199	728
南区	54	493	16	563
市外（県内）	16	39	31	86
県外	22	9	138	169
無回答	78	64	89	231
合計	704	617	952	2,273

<利用回数>

利用回数	市立	相模大野	橋本	3館合計
ほぼ毎日	15	18	24	57
毎週	168	150	218	536
2週間おき	227	181	238	646
月に数回	167	155	262	584
半年に数回	47	52	110	209
初めて	6	5	15	26
無回答	74	56	85	215
合計	704	617	952	2,273

○来館目的（複数回答可）

来館目的	市立	相模大野	橋本	3館合計
本・雑誌・CD等を借りるため	635	554	832	2,021
本・雑誌・新聞を読むため	148	136	200	484
ビデオ・DVD等を視聴するため	17	13	25	55
インターネットを利用するため	20	7	32	59
図書館の資料で調べものをするため	80	63	93	236
読書相談・調べもの相談をするため	13	7	11	31
おはなし会や講座に参加するため	8	15	12	35
学習をするため	36	23	54	113
その他	14	17	34	65
無回答	3	5	5	13
合計	974	840	1,298	3,112

○力を入れて取り組んでほしい事業（複数回答可）

力を入れて取り組んでほしい事業	市立	相模大野	橋本	3館合計
子どもを対象とした事業	248	254	412	914
中高生を対象とした事業	121	123	246	490
社会人を対象とした事業	342	293	426	1,061
子育て世代を対象とした事業	134	128	215	477
高齢者を対象とした事業	259	201	247	707
障害者を対象とした事業	60	44	65	169
外国人を対象とした事業	43	40	67	150
市内小中学校を対象とした事業	57	62	104	223
その他	65	52	74	191
無回答	47	41	57	145
合計	1,376	1,238	1,913	4,527

○良いと思われる事業（複数回答可）

<市立>

事業名	人数
おはなし会	368
紙芝居劇場	269
としょかん落語	251
歴史講座	329
公文書館連携展示	119
バースデーブックメーカー	77
図書館報「TOMTON」発行	144
「調べもの通信」発行	126
無回答	102
合計	1,785

< 相模大野 >

事業名	人数
大人のためのおはなし会	125
正月イベント「お正月がいっぱいです」	63
図書館活用講座 「講談～耳で楽しむ文学～」	147
図書館活用講座「さがみはら伝説探訪」	80
特集コーナーでの本の展示	247
「らいぶらりーにゅーす」の発行	125
定例おはなし会	107
大きなおはなし会	83
絵本のテーマ展示	86
絵本コーナーの壁面装飾	61
「チャイルズタイムス」の発行	54
無回答	82
合計	1,260

< 橋本 >

事業名	人数
開館15周年記念コンサート	337
読書会	329
おはなし会	427
展示スペースや本棚での企画展示	318
子ども向け調べ案内の発行	220
YAコーナーでの情報発信	118
橋本図書館手づくりサロン	185
相模原歴史探訪	269
館報『Hi!』の発行	115
ブックリストの発行	142
無回答	97
合計	2,557

○ 図書館へのご意見・ご希望

図書館へのご意見・ご希望	市立	相模大野	橋本	3館合計
資料に関するもの	85	68	114	267
図書館運営に関するもの	58	25	50	133
図書館サービスに関するもの	30	54	27	111
施設・設備に関するもの	30	24	46	100
企画事業に関するもの	13	23	53	89
その他	15	12	40	67
合計	231	206	330	767

主な意見内容

全体共通

・ CD や DVD の充実を図ってほしい。さらに、予約・リクエストや貸出延長をできるようにしてほしい。

・ 図書については、新刊本を早く入れてほしい。専門書についても充実を図ってほしい。

・ 図書館で様々な事業が行われていることを知らなかった。広報を積極的に行ってほしい。

市立図書館

・ 館内で読書する場所や設備（椅子、照明等）を充実させてほしい。

・ インターネットパソコンの台数を増やしてほしい（相模大野、橋本より台数が少ない）。

相模大野図書館

・ 絵本が探しにくいので、排架方法を工夫してほしい（出版社順では探しにくい）。

・ ビデオ・DVD の試聴ブースを設けてほしい。（市立・橋本図書館にはあり）

橋本図書館

・ 子ども向けの本の充実を図ってほしい。

・ いろいろな企画や展示をいつも楽しみにしている。子ども向けの夏休みイベントは毎年行ってほしい。